夕刊 滿洲日報 七月三十日

双方、武力を充實して交渉を有利に導かん

勞農メ總領事を代表に任命 平和的解決を提議

【滿洲里二十九日發電】ダウリアのロシア軍司令部は本日當地支那軍司令部に對し、ロシアは東鐵問題につき平和的手段により解決したい、目下ダウリアに在るメリニコフハルビン總領事をロシア代表に任命すべく、よつて支那側も蔡ハルビン交渉員を支那代表として派遣されたしと打電して來た、斯くてさしも紛糾せし露支關係も武力を背景にして漸く和平會議を開くことゝなつた、而して蔡ハルビン交渉員一行は三十日夜當地に來ることに決定したが、露支兩國ともに和平會議を有利に導くため續々軍隊を國境に集中しつゝある

日取と交渉地協議

【ハルビン二十九日發電】蔡ハルビン交渉員一行四名は二十九日十八時三十五分發で滿洲里へ急行した、右は露支和平會議開催の日取及び場所選定につき滿洲里にてロシア軍憲と協議するためと觀られてゐる

勞農軟化の動機

わが友誼的勸告から

【ハルビン二十九日發電】ロシア總領事メリニコフ氏は歸國の途中グウリヤにて文武合同の重要會議を開き協議の結果、結局露支和平會議開催に決定したが、最初強硬な態度を持してゐたロシアが支那に和平會議開催を慫慂するに至つたことは日本が駐日露、支大公使に友誼的勸告をなしたことに因るものであると

東北銀行を設立 東鐵收入を統一

平津の銀行團が協力

【北平二十九日發電】奉天當局は南京當局と協力し年額二千萬元の東鐵純益を基礎として東鐵收入の統一を兼ね北滿に於ける經濟的活動の根源として東北銀行をハルビン若しくは奉天に設置すべく目下具體的計畫進捗中である、右につき北平銀行工會は昨夜幹部會議を開いた結果、鐵道部長孫科氏より協力方希望もあり取敢ず天津銀行工會幹部と共に八月早々奉天に到り張學良氏の意向を聽取し次で東鐵沿線を視察した上最後の決定をなすべしと意見の一致を見た

滿洲里の各商店ボツ/\開店す

邦人商店は打撃甚し

【滿洲里二十九日發電】數十輛の露軍裝甲車時々國境に現はれ威嚇をなしてゐるが、兩軍とも戰意なく今朝來滿洲里のロシア人商店は井々開店したが、支那商店は尠い、殊に日本商店も商賣出來ず經濟的に半殺しの状態である

赤系露人を共産黨取締

【天津特電二十九日發】傅作義司令の訓令で天津警備司令部は參謀處長、公安局長、憲兵司令其他各區主任を會同し秩序維持に關し左の事項を議定した

一、隨時視察員を派し各民衆團體の反日運動及び日貨檢査の状況を調査せしめる

二、全市軍警及四郷地方の軍補關に通令し共產黨及匪賊等が赤露人に利用され地方を騷亂せしむる事及び學生青年工人が其煽動に乘ぜられない樣嚴防する

三、各機關は即日無形の戒嚴令を實行し反動分子に機會を與へない樣努力する

山梨總督辭めず近く歸任か

首相に治鮮方針説明

【東京三十日發電】松田拓相は山梨總督と會見後、小坂、小村兩次官、武富參與官等を招き山梨總督の治鮮方針、朝鮮豫算につき協議したが、更に拓相は十一時四十分濱口首相を訪ひ總督との會見顛末を報告するところあつたが、山梨總督は本日の會見では進退問題には觸れず近く歸任する旨を洩らしたと

實行豫算の緊縮は豫期以上の好成績

剩餘金は明年度財源に保留

濱口首相語る

【東京三十日發電】實行豫算の決定について濱口首相は語る

四年度實行豫算の編成は現内閣が聲明する財政の整理緊縮財界の立直しに邁進する第一歩であり其出來榮え如何は直に明年度豫算の編成並に

金解禁 斷行に影響を及ぼすべき試金石として自分は深甚の注目を拂つてゐたのであつたが幸ひ各閣僚は大局より見て藏相と一致協力編成に當られた結果豫期以上の成績を以て實行豫算の編成を終つたことは眞に滿足に思つてゐる、而して今回節減したる總額は九千萬圓を突破するに至り、之を本年度豫算總額十七億七千萬圓に對して十六億八千餘萬圓に減つた譯である、其結果四年度豫算に於て公債支辨事業となつてゐた震災復舊費三千九百萬圓を全部普通財源の支辨に移したほ相當の剩餘を生ずるに至つた、即ち其

剩餘金 は大體二千萬圓に達するが、之は明年度豫算編成の財源として保留し充當することにしたが此剩餘金の取扱に關しては五年度豫算編成の時でなければ決定しない、從つて本年度一般會計公債支辨事業は豫て我黨の主張の如く帝都復興に關する經費にのみ局限した譯である、之に因つて之を見るに明年度以降における公債支辨事業は少しもない事になり我年來の

主張を 實現したのである、斯くの如く財政の緊縮整理、財界立直しの第一歩に於て政府は大體滿足すべき成績を得るに至つたが此事は自分として眞に喜びに堪えない、實行豫算は八月一日から實施することにしてゐるが奏上の必要はないと思ふ、勿論井上藏相が今一應奏上するかも知れぬ

朝鮮の豫算は緊縮不可能

【東京三十日發電】山梨朝鮮總督は三十日午前十時拓務省に松田拓相を訪ひ朝鮮統治の經過を報告したる上朝鮮豫算は内地豫算と相違するを以て一般豫算並の緊縮は不可能なる所以を力説し拓務省の方針を聽取し同十一時十分辭去したが辭表は豫想された如く提出しなかつた

臨時議會は無用 義教費負擔せず

井上藏相の財政政策

【東京三十日發電】財政緊縮方針に關し井上藏相は語る

既に年度の三分の一を經過してゐるにも拘らず九千百萬圓の節約を爲し得たことは國家の爲め喜ばしい次第である、今度は明年度豫算編成に着手し財政緊縮の實を擧げ一路金解禁の實現に向つて邁進したいと思ふ、野黨に臨時議會を召集すべしとの議論があるやうであるが、法制上からいつても又先例からいつても院議無視とか違憲であるとかいふ問題は起らない、故に臨時議會召集の必要は斷じて認めない、只政治論としての議論の餘地はあるだらう、然し吾々は時勢を見極めた上で斷行しなければならぬと信じて實行豫算を編成した迄である、民政黨が在野時代主張した義務教育費國庫負擔の實施に就て地方町村會代表の陳情があるが、現下の財政難では實行出來さうにもない、今の財政状態では半額三千萬圓の恒久財源を取られることは到底不可能である、此問題のみを見て空手形といはれても金が無いから仕方がない大局から見て理解して貰ひたい

地方費の節約額 五、六千萬圓程度

地方長官に緊縮訓令

【東京卅日發電】地方財政の緊縮に關する訓令は二十九日各地方長官に發せられたが、之によると本年度節約額は五、六千萬圓見當となり五年度豫算は本年度歳出豫算額に比し府縣七千萬圓、市町村五千萬圓に達するものと見らる

關東廳の節約額 八十九萬圓餘となる

【東京卅日發電】關東廳實行豫算は八十九萬圓餘削減の上閣議を通過した、目下在京中の西山財務部長から財務部に通知があつたが、削除される事業の細目は西山部長の歸廳を俟ち決定される見込で、大體の方針としては土木事業方面の遞信局員講習所建設及高等法院の新築、都市金融組合への貸付金の削減等に多少の手心が加へられるのに至るであらうと觀られてゐる

ブ内閣初閣議

【パリー二十九日發電】ブリアン内閣初閣議は本日午後開催議會は水曜日より開會されることに決定した

東鐵問題の實情調査に 河瀨氏來滿す

支那協會專務理事河瀨蘇北氏は露支國交問題悪化の折柄實情調査の爲め卅日入港はるびん丸で來連したが語る

哈爾賓まで行けますか?どうしても第三國の調停で一段落と云ふ事になるんでせうね、調停國は何と云つても日本が口を切らねば收まりますまい、英米ぢや駄目ですよ、そんなわけで支那側の氣持は大概解つてゐるから今度はロシア側の氣持を探りに來たんですよ今日はホテルに一泊して直ちに奥地に向ふ豫定です

石塚新總督の親任式

【東京三十日發電】新任臺灣總督石塚英藏氏の親任式は三十日午後一時半宮中において鈴木侍從長、濱口首相侍立の上左の如く擧行された

任臺灣總督 從三位勳一等 石塚英藏

同時に左の如く川村總督は解任せられた

依願免本官 臺灣總督 川村竹治

松岡副總裁明朝歸連

藤根理事はけふ

松岡滿鐵副總裁と共に吉敦線視察中であつた藤根理事は一行と別れ三十日十七時齊列車で歸連する筈 尚副總裁は三十日二十二時半奉天發三十一日午前八時半着連の豫定である

松岡副總裁南行

【長春特電三十日發】吉敦線方面視察中の松岡滿鐵副總裁は二十九日二十時五十五分歸長二十二時南行した

人事

▲矢野仁一氏(京大教授) 卅日入港のはるびん丸にて來連 ▲駒井卓氏(京大教授) 同上 ▲坂井大輔氏(代議士) 同上 ▲河瀨蘇北氏(支那協會專務理事) 同上 ▲大城博國氏(中日和平公司副總理) 同上 ▲長野於吉氏(第十六師團經理部長) 同上 ▲岡部平太氏(滿鐵社員) 同上歸連 ▲勝尾信治氏(滿蒙醫科大學教官) 同校生徒十二名引率同上

來連

▲四宮信彥氏(名古屋高等工業學校教官) 同校生徒八名引率同上 ▲日下清癡氏(營口商業會議所書記長) 同上着連 ▲梅原眞隆氏(前龍谷大學教授) 三十日はるびん丸にて來連若草山西本願寺別院に投宿

大觀小觀

◇石本市長に恩田議長、いゝ組合せで御座る。老人萬歳!

◇さるにても青年議員諸君の意氣地なさよ!か。

◇天壤無窮と云ふ經濟的用語はないはず、言葉の端々を捉へるゝ郷て妙なことになる。

◇金融業者喜ばせの緊縮豫算が出來上つた。

◇國民大衆を喜ばせる緊縮豫算でなければ何んにもならない。

◇行政財政の大整理、大減税の斷行、これを聲明し且つ實行せよ。

◇金解禁への一路邁進、もとより結構、イザと云ふ場合躊躇したら少しも結構でない。

◇勞農飛行機、模擬爆彈を投下し支那軍空砲發射、まるで戰爭ごつこ。

◇東鐵回收も模擬回收だと、支那側がいひ出しさう。

天氣豫報

卅一日(曇り一時晴れ)南の風 日出四時五十二分日沒七時七分 滿潮前四時十分午後四時二十分 干潮前十一時廿分後十一時廿分

各地の温度

	十一時	昨日最高
大連	二九、六	二九、四
旅順	二一、二	三〇、四
營口	二四、三	二九、九
奉天	二八、六	三一、〇
長春	二三、八	三〇、五

楯の半面

辭める山本滿鐵總裁 (六)

二十餘年は夢と流れて

山本氏がこの滿洲に初めて足を踏み入れたのは日露戰爭の直後だつた、これに就て山本氏は過日滿洲館において大連民間の主なる人々を招待した、その送別宴の席上

今から二十餘年の昔、若盛りの一日本人が、單身營口に乘り出して來た時、誰かよく今日の滿洲、今日の大連を夢だに豫想し得たことでせう。と深い感懷の聲を洩らして居た當時山本氏が三井の滿蒙進出の路を拓くべく第一に足跡を印したのは營口で、それより同行二人馬に跨がつて、營口、海城、安東を經て朝鮮に入つた、これが氏の滿洲に關係を持つ機緣となつたのである、三井の營口出張所が設けられたのはそれから間もなくのことで、これは何と云つてもこの滿蒙に於ける邦人發展の魁となつた。

▽―△

いま滿鐵總裁を辭めんとするに際し、その惜別行の列車中―快いクツションの動搖、轟々たる車輪の音、などに陶醉しつゝ囀ろに往時の苦心を追想して居たが、未だ拓かれざる茫々たる荒野から、二十數年の歲月は夢と流れて、見渡す限り蒼々たる沃野と化した窓外の景色も、今更ら、いろ/\な感慨を覺えたとは云ふまでもあるまい。

軍隊を檢閲した山本氏

春日校講堂に於ける社員告別式も濟み、滿鐵城内學良氏との會見も終りて、山本總裁の一行を乘せた列車が、奉天驛を徐々離れた時、プラットホームを埋めた日支官民の轟然たる見送りに、眼を屆いた松岡氏、何んと思つたか伸び上つて頻りに窓外を覗いて居たが、席に戻ると直山本總裁を顧みて「何うです總裁、あのやうに軍隊や憲兵の一隊に見送られたのは、進の貴方も初めてでせうね」と云へば山本氏ニヤリと笑つて「馬鹿云ひ給へ、これでも堂々と軍隊の檢閲を遣つたことがあるよ」と囁く。

▽―△

實業家山本氏、あるひは政治家山本氏、何かの機會に軍隊の送迎をうけると云ふなら判るが、自ら軍隊の檢閲を遣つたとは解せぬ話、と居合せた皆が皆、妙な顏をして山本氏の唇元に注意した。すると更に山本氏タヌリと笑つて、何ア譯を話せば何んでもない次第さ、我輩が社長代理時代に、沿線各地を視察した際、齊々哈爾で吳俊陞に招待されたが、先づ自分の軍隊を見て呉れと云ふので、早速吳に隨つてその軍隊を見て廻つたのがそれだ――軍隊の檢閲それこそまさに生れて初めての經驗だつたね。と呵々大笑した、山本氏軍隊檢閲の一齣、聞いて見れば甚だ以て他愛のない話。

煙に捲く山本宮相説

山本氏のあの風貌では、却々冗談や洒落などを言ひさうにも思はれぬが、その癖駄々冗談や警句を吐いて呀ツと言はせるやうなことも時々はある。これなどはその一例、職を辭して浪人したら何をするかと云ふ話が出た際、聞いて居た山本氏、卒然として曰く、「僕も一つ、こんどは宮内大臣になるかな」と突拍子もないことを言ふ、その眞意を圖り兼ねた一座のものが、クス/\と笑ひ出すと、山本氏拔からぬ顏で、「滿鐵總裁から宮内大臣になるのは、チヤンとその先例もあるからね」と來た、蓋し中村雄次郞男の先例を巧に持つて來ての落し話であつた、これには一同大笑ひ。

山本氏の日常生活は

山本氏の日常生活は、故原敬氏の習癖によく似て居る、即ち朝は早くも九時か十時にならねば起きない方で、その代り夜は二時、三時一向お構ひなし、大低の要談は深夜に於て片づけると云つた風、これには道の滿鐵幹部連も大分惱まされたらしい。東京の自邸でも星ケ浦の總裁邸でも次から次へと、引つきりなしに押し掛ける來客を、一々應接送迎し、殆ど倦む所を知らざるその精力振りは眞に恐るべきものである。

▽―△

山本氏の最も嫌ひなものゝ一つは靑年の和服姿と、ステツキを持つた姿、これは活動性を殺ぐその性格から出たもので、今後若し後進の靑年で、山本氏に何か頼まうと思つたなら、面會の際これだけは禁物と思つたがよい。なほ氏の「楯の半面」に就いては書くべきことも多々あるがこの程度で擱めて置く。(完)

荻川放談 (73)

停年制

滿洲での滿鐵は、在留邦人間に雄位を占む、それで滿鐵のことゝし云へば、箸にもかゝらぬほどのことでも問題になり易いが問題が會社内部の組織なんどに及ぶは、恰ど人の猫氣で頭痛を惱むと云つた調子で、要らぬことのようにも思はれ、殊に内部の事情を局外からの批評は、其事情に通ずるの薄さ、動もすると正鵠を失し、正鵠を失したとて批評は勝手だが、此批評が時に滿鐵内部にまで波動を及ぼす世間普通の會社なら、内部のことにそんな批評も受けず、こんな波動をも蒙らぬのに、滿鐵は氣の毒である、而して其結果からすると、善きことは顯はれず惡しざまに言ひ囃されることだけが、人から人に傳はつて、時に社内でも面白くない氣分を醸す。

◇

山本總裁の置土產にならうかと思はるゝ、社員停年制廢止なんかも其一である、これまで滿鐵に停年制はあつたが、それに除外例の設けられて、有用の社員は何等此拘束を受けてない、寧ろ該制度は、有用ならぬ社員までを、停年制に立籠らす如き弊害があつた、そうすると其廢止こそ當然なのに、傳ふるところによると、社内ではこれにつき悲くものもありとか、果して之が眞なりとせば、さあこゝらが局外から輸入した無思慮な煽動熱と稱すべきものでなからうか殊に悲くは青年社員なりとあつては、歎然るを思はしむ、靑年は事に激す、冷靜の地位に立つて考へねばならぬ、停年制の堰は除けられた、自分に自信があつて、滿鐵に終始せんと欲せば、其處を墓場としてまで踏み留まり得るではないか。

◇

斯うして邁往する有用なる社員の前には、停年制に立籠らんとせし有用ならぬ社員は、一溜りもなく退散すべし、停年制の廢止は、有用ならぬ社員の因循性を覆へしたるものなりと知れ、從つて停年制の廢止を呪ふは、後進を擁塞して吾を全ふせんとすることにもなるではないか、迷ふな滿鐵社員諸君と言ひたい尤も停年制は滿鐵の外にもあつて、我陸軍如きが其最嚴格な部に屬す、併し陸軍の本制度は、それに定めたる年限まで服役し得ると規定するが、其年限まで服役の權利を認めてない、滿鐵の停年制も恐らくそうであつたと思ふが、其處に履き違ひあつての悲々なら亦何をか云はんやである。

懸賞論文當選發表

滿蒙の地より内地の友へ送る書

一日の朝刊より連載

本社が過般懸賞募集したる論文「滿蒙の地より内地の友へ送るの書」は去る六月以來審査員の手に於いて愼重審査中であつたが其の結果左の如く入選決定した、此等の作品は一日の朝刊(第三面)から連載することにする

△當選(賞金二百圓宛)

大連市久方町五 金丸精哉
同薩摩町一六一 高野運太郎
奉天森町一五 福田八十楠

△佳作(賞金五十圓宛)

大連市櫻町一〇七 大貫正
同柳町八三 岡川榮藏
上海東亞同文書院 池田靜夫
熊岳城益濟寮 八坂友次郎
開原附屬地 江口萬龜夫

平安異香(65)

葉多默太郎作　中一彌畫

戀情地獄(一)

眞赤な顔だつた。上へ向いて突出た牙が、唇をめくりあげて、鋸歯の蔭に蛇のやうな焔の舌だつた。

鬼!一本角の鬼――春光は固唾をのんだ。話には聞いたが、鬼といふものはやつぱりあつたのか――と思ふ。

たゞ茫漠とした灰色の世界で、見渡す限りの枯野ケ原だつた。鬼が指さす所に何か白いものが蹲がつてゐる。小兎ほどのものだが、死んでゐるのか動かない。

赤鬼はその小兎を指さし、春光を顧みてゲラ〳〵笑ふ。笑ふたびにカツと開く口が、血のしたゝりさうな眞赤な色だ――。笑ひながら小兎に歩み寄つて――と見ると突然その小兎が血を吐くやうな悲鳴をあげたが、聞き覺えのある聲で、ハツと瞠目すると、小兎と見えたのは愛人の幸だつた。

身に一糸も纏はぬ裸形の處女だ。肌の白さが白兎に見せたのであらう。

「あ、幸!」

呼ばうとしたが聲が出ない。駈け寄らうとしたが呪縛にかゝつたやうで身が動かない。

鬼は處女を指さし、春光を顧みてゲラ〳〵笑ふ。笑ふと見ると、やにはに處女に手が伸びて、あつといふ間もなく、丈餘の黑髪がサツと宙に躍つて逆さまに埀れた。鬼の手に摑まれた片脚へ、他の片脚が蛇のやうに絡み、二つの手は胸の乳房を固く抱いたので、逆さに吊るされた女が、長い穗をした白鞘の筆のやう――。

鬼は笑つた。春光を顧みた。

そして、左の手が女の片足にかゝると、雜作もなく脚の絡みを解いて放して、蛙を裂くやうに、悲鳴もたてさせず、ビリツと裂いた眞白の股、

「おい、苦いか」

肩を搖ぶられてフツと目を覺ませた宮部三郎春光――目の前に蹲むぢやらだが、案外人の好ささうな眼をした大きな顔を見た。鬼ではない。昨夜の男だ。笑ひながら足に足錠を締めた男だ。

こゝは昨夜のまゝの山間の小屋が――。

「ひどく魘されてゐたぜ。悪い夢を見たのだらう」

春光は夢の跡を追ふやうにすぐ目を閉ぢた。が既に鬼もなければ幸もない。枯野も消えて何處に索ねる術もなく、たゞ眼底に浮ぶのは、堪へようとして堪へられぬ熱い涙ばかりだつた。すると、

「學生さん、お前さん泣いてるな」

隣に、古靴を並べて寢てゐた鬣の男が腹這ひになつて、圖柄にもなくしんみりした聲をかけてくれる

「無理はねエよ、娑婆でどんな威張つてた奴でも、こゝの一夜は眠られねエやうだ。皆娑婆に遺して來た女房や子供の夢を見て泣いてやがる。世の中を引繰り返すやうな大い事を謀むやうな剛太い奴でもさうなんだからな。ましてお前のやうな若さだと、あゝもしたいかうもしたいつて事がたんとあらう・・・生木を裂かれるやうな女つ子もあるだらう。諦めのつかねエのも道理さ。――それにお前さんなんぞは、かう見たところ、悪い事をするやうな人ぢやねエ。大方長い物には巻かれろつて道理の嚙み分けが出來なかつたせいだらうと睨んでゐるのだが、どうだ、當つたらうな。なんしろ道理の通らねエ世の中なんだから」

春光の面に淋しい微笑が浮んだ世に隱れたこんな地の底のやうな山間にかうした人情があらうとは思はなかつた。

「こゝは何處ですか。京からどの位離れた所です?」

「そいつは云へねエのだ。御禁制を破つちや俺の首が飛ぶ」

「私はこれからどうなるのです?」

「荒木の輿に乘つて出かけるのだよ」

「何處へです」

「俺にもそいつは分らねエのだがこゝを送り出した人が再度とお目にかゝつた人はねエのだから……おう、窓が白んで來やがつた。お前さんも起きな」

それから半刻ばかりの後、荒木の輿が四人の男に擔がれて小屋を出た。松の密林に深く朝霧がこめて、斷崖ばかりが黎明の色に眞紅に映えて、一枚の赤鬼の面かと見えてゐた。

映畫と演藝

發聲映畫から探偵映畫再起【下】

最近のトオキーに見てもユナイトの「アリバイ」パラマウントの「カナリヤ殺人事件」(本邦では無聲公開)「スタヂオ殺人事件」ユナイト社の「ブリドツク、ドラモンド」等があり、例へば「アリバイ」の如きは從來のサイレント映畫のマンネリズムが自ら映畫全體を視覺的に表現してゐるものゝトオキーに依る此の種のストオリイが如何によく活きてゐるかを知ることが出來る。パ社の近く封切るべき「スタヂオ殺人事件」はオールトオキイとして上映されるが、如上の點で期待さるべきものであらう併しトオキイなるが故に特に探偵小說の映畫化が多くなるといふことはないわけであるが、從來無聲映畫では映畫的成功を危ぶまれた探偵小說がトオキイの世界に於て初めてよく再現されるべき理由があることに依つて、探偵映畫はその好奇心を煽る興行上の利益と共に益々その數をも增加することゝ思はれる。

映畫界東西

この間浪速館に上映された「蜂須賀小六」の第一篇が百パーセントトーキーとして八月一日封切

◇右太衛門映畫「冷眼」が慘忍性と[illegible]をかけるといふので檢閲保留になつた監督は[illegible]之助

◇コロムビア社の次期作品卅六本のうち廿六本をトーキーとして製作する旨を發表

◇東京の映畫街はいづれも名映畫の再上映に夏場をしのいでゐる。

◇各社では涼しい映畫といふので八月中に山と海の作品をどし〳〵封切する

◇これが秋口の涼しくなつてから大連映畫街に上映される

映畫案內

三十一日より公開　先週連日滿員謝恩　大興行
(特に料金最低)日活特作時代劇　佛生寺彌作監督
塚原小太郎(前篇十卷)
主演　澤田清
助演　市川小文治、久米譲　川上彌生外總助演
◇
日活特作現代劇　原作　村上浪六氏
時代相
主演　大崎史朗　浦邊粂子
浪速館

三十一日より公開
十返舍一九……原作
山上伊太郎……脚色
井上金太郎……監督
彌次喜多　東海道膝栗毛
根岸東一郎……彌次郎兵衛
阪東三右衛門……喜多八
帝キネ絶對的百パーセント映畫
現代悲劇　涙の悲曲
天才子役　杉村チヱ子　金澤ミツ子　主演
東京日日所載　佐原の喜三郎
松本田三郎主演
演藝館

二十九日より
松竹キネマ二大巨篇同時封切
蒲田の名篇　浮世小路
貞操の貴重、結婚の重大、それに對する若人個々の解釋、何れが是か非か、嚴正なる諸兄姉の批判を待つ
池田義信監督　栗島すみ子主演　オールスターキヤスト
南興行部進出、第二回特別大興行
面影
時は晩春―所は薄―暗い惠まれない境遇にある三人の若き男女が奏でいづる悲しき調べ――。
白熱的人氣にある美男林長二郎主演
下加茂の雄篇　下加茂幹部總應援
帝國館

廿八日ヨリ大公開　阪東妻之助主演
蜘蛛の街
悪縁道中記　嘆きの小徑
[illegible]館

西洋家具 室內裝飾 設計製作 織物敷物
品川洋行
窓掛 壁紙 リノリユーム 裝飾材料 其他色々

TEC
新
天威ランプ
天威瓦斯入電球
テーイランプの新電球
小さい可愛いお月様
お部屋のお花を金にした
わたしのきものを銀にした
內面からの艶消で特に明るく汚れない
東京電氣株式會社出張所

支那の共產、反共產兩派 對露問題で正面衝突

共產黨は對露開戰の場合に暴動を企て勞農を援助する

……尖鋭化を有力に語つてゐる、更に最近上海に在る三十一の左翼文藝雜誌は帝國主義の陰謀といふに注意し準備されたる世界大戰に注意せよとの聯合宣言を發したがその內容は全く共產國際第六次世界大會の決議に則るもので從來地下に追込まれてゐた共產運動が俄然公開運動に轉じ而も何時の間にか案外强大な勢力を恢復して現れたのに驚かされる

東鐵沿線の兵備充實に 舊奉天派が躍起となる

南京政府の勢力侵入で

衝突の場合を考慮 張作相氏乘出すか

精鋭の十八旅を自ら引具して 國境の露支兵力

兩國軍隊の行動

ロシア側依然として ダウリヤ集中を繼續

危機一掃

勞農動員完結

……軍費八百萬元に達してゐると

【ハルビン卅日發電】浦鹽勞農軍は約一週間以前より着手せる全部の動員を完結し國境に向け輸送中

陸軍定期異動 八月一日に發表

【東京三十日發電】陸軍定期大異動は來る八月一日發表に決定した

白色パルチザン 赤軍と衝突

死傷者二百名を出す

【ハルビン廿九日發電】廿八日イマンに於て赤軍と白色パルチザンとの衝突あり死傷者二百名を出したと

馮系三要人 三月振りに歸寧

鹿鍾麟、薛篤弼、唐悅良氏ら 曾、熊兩氏の勸告で

【上海卅日發電】馮將離反後南京を逃げ上海のホテルを轉々所在を晦ましてゐた馮系要人鹿鍾麟、唐悅良、薛篤弼の三氏は蔣介石氏の依賴を受けた曾澔森、熊斌氏の勸告を容れ昨夜三月振りで南京に向つた、三氏は出發に際し左の如く語る

鹿鍾麟氏 八月一日からの編遣會議出席の爲めで西北軍編遣主任として議に與るが軍政部長には斷じて就任しないこれを最後に軍政兩界から引退する、編遣案は一月位で濟むが實績の點檢を勵行せねば折角の計畫も其の効を失ふ西北軍の淘汰兵は田地開墾に利用するのが馮氏の計畫だつたが今度はどうなるか判らぬ

薛篤弼氏 余の入京は蔣氏の希望に依るものだが衞生部長と……はならない、そして日本を經由し各國衞生事業を視察する積りだ

唐悅良氏 余は病軀の爲め三月前に辭表を出したのであるが最近外交事務多端の爲め外交次長に復歸するかも知れぬ

山梨朝鮮總督 滯京を命ぜらる

指令書

政務の都合に依り當分の間滯京を命ぜらる

【東京三十日發電】山梨總督は三十一日歸任することゝなつたので政府は協議の結果、午後四時天皇陛下に左の如き指令を上奏御裁可を得鈴木翰長は右を携へ午後六時總督私邸を訪ふたが總督不在のため執事江原氏に之を手交した

已むを得ず指令を奏請

鈴木書記官長談

【東京三十日發電】山梨總督邸訪問後鈴木書記官長は語る

本日濱口首相が山梨總督と會見に際し尙ほ當分滯京すると云ふ事であつた、然るに今日首相官邸の支關先へ名刺を置き明日歸任すると云ふ挨拶であつたので政府は全く意外の感に打たれ次第である、首相としては山梨總督と尙は話したい事があるので あるが明日出發すると云ふ事では其の暇もないので已むを得ず本日午後上奏御裁可を經て同總督の滯京を命ぜられた指令を手交したのである、此の指令は勿論郵便で出しても差支へないものであるが事情を詳しく話し度いため訪問した處不在なので今夜十時更に訪問することゝし取敢ず指令を江原氏に渡して受取りを取つて來た

辭表提出は 事務解決後に

木下長官語る

【東京三十日發電】木下關東長官は三十日午後二時半濱口首相を訪問し關東廳の施政情況豫算問題等を報告したが明三十一日午前十時半松田拓相を訪ひ事務打合せを行ひ一日葉山御用邸に伺候して兩陛下の天機並に御機嫌を奉伺したる後兩三日中に正式辭表を提出する旨を約し午後二時三十分辭去した

木下長官は語る

自分は濱口首相とは三高時代、同志會時代以來非常に懇意な仲だ、然し違つた政府の首相と懇意とは物騷だ、今日歸京挨拶と組閣祝をした、辭表の提出は豫算其の他の事務があるから其の解決後正式に提出する

露支兩國代表が 伯林で非公式に交渉

【ベルリン二十九日發電】駐獨勞農大使館は露支紛爭解決のためベルリンで露支兩國代表者間に交渉が行はれるとのワシントン駐在支那公使の聲明を否認してゐる、從つてこの否認を正當とせばワシントンよりの報は一種の謎となるが

モスクワより得た情報によれば勞農政府は非公式會商は何時にても開催の準備ありと言つてゐるから事實はベルリンにて露國大使クレチンスキー氏と支那公使蔣作賓間に非公式交渉が進捗しつゝあるものと解される

セ全權 迎へる準備

赴滿の蔡交渉員

【ハルビン特電三十日發】蔡交渉員は廿九日滿洲里に向け出發するに際し特別專用車三輛及び食堂車一輛を增結して行つたが、右は若し滿洲里に於けるメリニコフ氏との會見の結果が順調に行けば目下チタに滯留中のセレブリヤコフ全權一行を直にハルビンへ迎へるための準備であると云はれてゐる

朱代表の着哈後 徐に交渉を進む

國民政府の對露方針

【上海卅日發電】張學良氏は王樹常氏を南京に派遣して露支問題の報告をなさしめたが、國民政府の對露方針は此上積極的に出でず哈爾賓及び長春における非公式交渉を基として朱紹陽氏をして哈爾賓に到着後徐ろに直接交渉を進めんとするものゝ如くである

赤化デーに 戒嚴令

上海に布く

【上海三十日發電】八月一日の國際赤化デーを期し共產黨の大暴動計畫あること判明し工部局警察は首謀者を嚴探中で租界在住支那人に對しても、來る八月一日は戒嚴令を布くにつき已むを得ざるほか外出を差止むべき勸告書を發表した、日本領事館警察各陸戰隊も緊張してゐる

波斯公使館

八月から開設

【東京二十九日發電】ペルシヤ公使館は七月一日から開設の豫定のところ內閣更迭に依り遲れ漸く二十九日閣議で復活八月一日から開設される事となつた、初代公使は前トルコ大使館參事官笠間杲雄氏が近く任命される筈である

首据替へ協議

【東京三十日發電】宇垣陸相は三十日午後三時四十分濱口首相を官邸に訪ひ相次で來邸した江木鐵相、安達內相等と鳩首關東長官の後任朝鮮總督の進退問題につき協議した

定例政務次官 會議開會

【東京三十日發電】定例政務次官會議は三十日午後一時首相官邸に開會、永井外務次官より露支關係につき

露支兩國は第三國を交へず事件解決の希望を持つてゐるが事態は重大であるから列國は速かに解決せんことを希望してゐる、米國務卿スチムソン氏は佛外相ブリアン氏を通じ露支兩國は不戰條約調印署名國となるを以て條約の

精神に 基き和平解決を

爲すやう通告した、日本政府も他國と連絡せず獨自の見地から偶然同樣の希望を駐日露大使、支那公使に申出でた處兩國とも其の好意を謝し出來るだけ希望に添ふと回答したが調停の依賴はないから政府は積極的行動の時期になつてゐない、アメリカは支那と連絡あるもロシアとは斷交狀態に在り英國亦同樣であり且つフランスは東洋に於ける發言權に乏しいが日本は密接な利害關係がある然し前內閣時代には外交行詰りの結果日本に對する支那の

猜疑心

深く極めてやり憎い立場に在り從つて此の際進んで渦中に投ずることは露支兩國に償意を疑はれる惧れあり、此の機會に政府は公明正大な態度を周知せしむるを要するから愼重に事態の推移を監視したいと述べ矢吹海軍次官は海軍々縮問題に就ては各國專門家間に議論が多い日本は大體英米一〇、日本七を補助艦の比率としたい方針であると說明し午後二時散會した

軍縮問題を討論

壽府の向ふを張つて 八月五日から國際聯盟協會が 內外人の講演討論會を開催

【東京特電三十日發】國際聯盟協會では八月五日より九日まで輕井澤の公會堂にて內外人の講演討論の會を催すが、その中八日は特に各國代表者となつてジュネーブの向ふを張りヴェルサイユ條約で聯合國が獨逸に約した軍縮問題、國際聯盟規約第八條による軍縮委員會に關する問題の二つをテーマとして各〻

各國の 立場より意見を

述べ討論を爲す筈である、議長には新渡邊博士、副島道正伯が當り委員會の外は一般に公開し尙滿場一致決議を得た時は決議文をジュネーブの聯盟軍縮委員會に打電すると、尙出席代表者は左記の諸氏である

日本から島田早大教授、中央公會堂河尻牧師、英國から名古屋高商教授ヘンローズ、東京商大教授レツトマン、同マツケンジー、米國からウエンライト博士、アドバタイザー記者クレイン、同主筆バイアス、獨逸からシュラー、伊太利から東京帝大教授デルリー、白耳義からバーマーテアル

民政黨總務會

【東京三十日發電】民政黨は卅日總務會で總選擧對策、政策の徹底地方開拓其他につき遺算なきを期する爲め兩三日間に黨幹部を各地に派遣すること、政府の整理緊縮政策消費節約宣傳の爲めの方策研究の爲め八月二日正午閣僚と黨幹部の第一回懇談を開くに決した

村岡中將から 關東軍狀奏上

【東京卅日發電】前關東軍司令官村岡長太郞中將は三十日午前十時天皇陛下に拜謁仰つけられ在任中の關東軍狀につき委曲奏上した

駐英米國大使 英首相會見

【ロンドン二十九日發電】駐英米大使ドーズ氏及びギブソン氏は本日正午マクドナルド首相と會見した、右會見中海相アレキサンダ氏にも種々諮問されたものと信ぜらる

松岡副總裁 奉天の動靜

【奉天特電三十日發】松岡滿鐵副總裁は三十日午前七時北方より來奉、同日午後一時半からヤマトホテルに於て開かれた市民の送別會に臨んだが、席上庵谷奉天商議會頭が市民を代表して挨拶を述べたに對し副總裁答辭を述べ二時半盛會裡に散會更に五時張學良氏を訪問し別離の挨拶を爲した

旅順軍部異動

對馬旅順憲兵分隊長は少佐に榮進し廣島憲兵分隊長に後任は東京憲兵司令部から大尉坂野光太郎氏が來任し、大佐吉村文吉重砲兵隊長は東京に榮轉し其他軍司令部及第九聯隊方面にも多少の異動ある模樣である

對外爲替强調

【神戶三十日發電】對外爲替市場は生糸ビル出廻り沸々ありてレート上進み對英一志一〇片一六分の一五に期近物に二萬磅の出會ひあり又賣手旺盛にて對米四七弗一六分の一にて十一月物に十萬弗の出會あつた

旅大送電工事 進捗

旅大の送電事業は着々進行して老座山隧道から大連に近く約一キロの地點及旅順は要塞地帶內に至る電柱建設の土木工事を終り全線の三分の二は竣工したので中里技師が現場の空地調査を行ふ豫定であるが、愈大連から電力が送電されるのは十一月中旬頃となるであらう、其曉は現在の料金より幾分安くなる模樣である

米野前本社編輯局 長ら送別會盛會

米野前本社編輯局長、同臼井總務部長及び同編輯出整理部長の送別會は既報の如く三十日午後六時半よりヤマトホテル屋上にて開催、大連操觚界を網羅せる各新聞社長及幹部多數出席歡談裡に會食デザートコースに入り主人側を代表して寶性大連新聞社長送別の辭を述べ之に對し來賓を代表せる米野氏の謝辭挨拶あり尙主客充分に交驩の上八時半散會した

臼井龜雄氏

來月四日離連

前本社總務部長臼井龜雄氏は本月末日限り薩摩町の宅を引拂ひ奉天等に赴き三日夜歸連四日出帆のうらる丸にて歸京の途に就く由

關東廳辭令(廿九日附)

關東廳遞信書記補 松田ミヤノ
同 山口シズ
同 野田文子
依願免本官

梅雨空の北滿

振りあげた拳の やり場に窮した支那側

二十五日ハルビンにおいて

第五信 武田南陽

……振りを示して來た、その晚もおそくまで會議が開かれたやうだつたが、明けて二十五日の朝となると朝寢するものは一人もなく午前八時といふに早くも特別區長官張景惠氏の公館は自動車で一杯である、呂榮寰、張國忱顧問、蔡運升交涉員、范其光局長、李紹庚副局長等々

◇

九時から開議、何時果つべくもない、メ張の會見が何んなものであつたにしろ戰ふべき決裂でないことだけは確だ、最早國民政府にも奉天巨頭連にも戰意のないことは既に明瞭となつて來てゐる、ところがそれで困りぬくものは哈爾賓官場の巨頭連だ折角振りあげた拳は一體何處へ下したら良いのだらうか、ヘコたれると思つた露西亞は案外强く、それでも一戰に及ぶなら勝敗は時の運としてラチはあくのだが、やれ／＼と言つてやらせた肝腎の國民政府や奉天が「戰はぬ」ことに決めてくれては取りつく島がない、全く好い面の皮とは今の哈爾賓の巨頭連だ、で「何んとかして」といふのが最後的な今日の會議となつてゐる

◇

此場合「戰はざる」ことを前提としてしかも困り果てた面子を曲りなりにも建てやうとするには「今後の交涉を何處までも我々の手でやり會議は哈爾賓で開かう」といふことを實現せしめねばならない破目である「しからば如何にして自分の手で交涉し哈爾賓を會議場たらしめ得るか」といふのが今日の會議の骨子を成してゐることは想像に難くない、そしてこの話がまとまらず奉天や南京で最初の期待に乃至はやり口に反して勝手に露西亞と交涉されたら面子どころか腹切りものである、會議の面倒なのも無理はない

◇

私は舊知である張景惠、呂榮寰兩君のうちのだれかをとらへてお見舞を言はうとしたが會議の最中とて極めて鄭重な門前拂ひを喰つた、お見舞といふと甚だ變かもしれないが何うせ事件の內容に觸れたつて本音を吐く筈はなしそれより「腹切る用意」が出來たか何うかのお見舞の方が時にとつての挨拶かもしれぬと考へたからだつた、友達の心も知らぬ二人ではある

◇

始めから秋論で始終しながら監理局長の榮位をかち得た范其光氏だけはそれでも涼しい顏がして居られる

常議員重任

―大連商議定期總會

大連商工會議所定期總會は三十日午後三時から開會、出席者は委任狀六十四名、本人出席二十五名で佐藤會頭議長席に就き議事に入る劈頭枡田會計委員から昭和三年度收支決算の精確なる旨の報告あり次で常議員五十名のうち四十名の

改選に

移り選擧方法は高田副會頭の動議で議長指名の銓衡委員によつて銓衡するに決し西村義郎、谷口英二郎、安西卯三郎、松島久兵衛、西田善藏の五氏が指命され、別室に於て商議理事者と協議銓衡の結果、安西銓衡委員長より一名の新顏も出ず全部再選、四名の缺員補充には相生常三郎、山田三平、大仲彌之助、平井大次郎の四氏

當選し

た旨の報告あり滿場これを承認、特別常議員には佐藤會頭の推薦で櫻井遞信局長、山崎取引所長、田村滿鐵興業部長宇佐美滿鐵々道部が推され、これまた滿場一致承認、それより任期滿了辭任に際して佐藤會頭、高田橫田兩副會頭の挨拶があつて同四時二十分平凡裡に散會した

常議再選に 非難の聲

別項の通り大連商工會議所常議員改選の結果は、一名の新顏も出ず例により因緣と情實にとらはれて議員全部の再選を見るに至つたが、これに對して一般に非難の聲が昂まつてゐる、即ち大連商議の常議員五十名のうち役員會の度に出席するものは僅か二十數名に過ぎず、他は殆ど公の會合に顏出しすることなく中にて選擧されて以來一度も出席したこともないといふ有名無實の幽靈議員があるに拘らず「落選させては惡い」といふ單純な私心の下にこの重要なる公務を瀆してゐるもので、商工會議所が財界の中心たる地步を占めてゐる今日、斯かる惡弊は速に一掃し埋れたる新進實業家の進出の途を拓き、潑剌たる空氣を商工會議所に注入すべきであると云はれてゐる

鞍山代表 援助を求む

製鋼所問題で

製鋼所問題に關し鞍山市民は是非とも鞍山に設置されたしと上京委員を派して濱口首相に陳情する一方、滿洲各地にも遊說員を派遣して猛運動に努めて居るが、三十日には大惠新治郎、山崎英武並に植田繁造の三氏來連[illegible]を始め商工會議所各新聞社等に援助方を求

安樂椅子

此間木下長官が歸朝するので關東廳文書課では事務概況報告を出發前に作成せねばならぬと一生懸命に骨を折つて急いだが遂に間に合はなかつた▲そこで去る廿六日飛行便で發送することにして當日其手續きを終へた處、幸ひ廿七日の一行が東京に着した午後六時卅五分無事報告書は入手した旨返電があつたので文書課ではヤレヤレと胸を撫下したとの話▲世間では兎角の惡評ある飛行郵便もこれによつて矢張り普通便よりは早いことが判つたと關東廳の井上氏が飛行郵便物の宣傳

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	八九五	九〇〇〇	八九七〇	八九七五

出來高 期近百六十一萬五千圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
寄付	九〇〇〇	一一〇九〇	一二三八〇
二時半	八九九五	一一〇八〇	一二三三〇
三時	―	一一〇八〇	一二三四〇

出來高 銀對金 二千圓 銀對洋 七千圓

商品

後場

	約定期	値段	枚數
麻袋(保合)			
鐵筋	延十月末	三四五	五〇

出來高 五萬枚
麥粉(出來不申)
綿糸布(出來不申)

神戶特產物(廿九日)
大豆現物 七四五

東京株式(短期) [illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	八〇六〇	八〇五〇
鐘紡	六六五〇	六六〇〇
鐘紡新	二四九七〇	一七八〇
日糖	不申	不申
郵船	不申	不申
東新	一〇六九〇	二〇六四〇

大阪期米

	後場寄	當限落	後場引
七月	二八四五		
八月	二七六九		二八四〇
九月			二七七〇

東京期米

	後場寄	後場引
八月	二八二七	二八三八
九月	二七四〇	二七四四

神戶期米

	後場寄	後場引
七月		二八六五
八月	二七七〇	二七六九
九月	二七七〇	二七六九

橫濱生糸

	後場一節	後場二節
七月	一二九九〇	一三〇〇〇
八月	一二八四〇	一二八四〇
九月	一二七七〇	一二七七〇
十月	一二六八〇	一二六九〇
十一月	一二六九〇	一二六八〇

滿洲日報
支那の當に深思すべき時

東支鐵道問題を中心とする露支事件に對し、列國の意嚮が支那に不利なることは、既に明白となつた。支那に比較的同情を寄せ來れるアメリカ合衆國でさへも、ロシアの讓步的態度に附け込んで、暴力を以て東支鐵道を奪還せんとした支那の遣口を非とし、本事件に對する妥協的解決の道は、盜んだ品物を一先づロシアに還すこと、即ち東支鐵道を元の狀態に復歸せしむるに在ると云つてゐる。吾等も當初より支那の行爲を不可としたが、日本內地の言論界も、支那の行爲を是認したものは殆ど無いと言つて可からう。

◇

我國は素より嚴正至公の立場に在るもので、ロシアを揚げて支那を抑へるやうな事はしないが、ロシアが讓步すれば讓步するほど附け上り、嵩にかゝつて東支鐵道を暴力的に奪還せんとした支那の遣口は、露支協定や奉露協定を無視した暴的行爲であつて、決して是認さるべきものでは無い。既に論じて置いた通り、吾等はこれを以て支那の國權恢復的欲求の一發露であると認めて居り、且それを相手の弱味に附け込んで非合法的に表現したものと見てゐる。支那の國權恢復的欲求には諒とすべきものもあり、謂ふところの國民的宿望なるものにも、また諒とすべき點あるも、詭計と詭辯を弄し、鷺と烏と言ひくろめ、侵略主義にあらざるものを侵略主義と云ひ觸らし、他の正當なる權利を無視し又は蹂躪するが如き國權恢復的欲求や國民的宿望には、到底同情能きない。

◇

支那の東支鐵道に對する暴力的不法行爲の理由は、赤化防止といふ事であり、ロシアの思想的侵略政策に好感を有せざる吾等は、その理由に多少の理ありと認むるも、それが附け足りの口實であることは明白であるから、それを正直に受取ることは能きない。第一暴力を以て赤化を防止するといふのが笑ふべき話で、假にロシアが東支鐵道によつて支那赤化の計畫を企てたとしても、暴力的不法行爲で東支鐵道を支那の手に收めさへすれば、それで赤化が防げると思ふが如きは、子供瞞しに等しい眞に嗤ふべき考へである。思想は恰も風の如くまた空氣の如きものなれば、東支鐵道を支那の手に收めたところで、極東露領と土壤相接近せる支那は、暴力を以て徹底的に赤化防止の能きる筈はないのである。

◇

ロシアの赤化を云々し、北京のロシア大使館、廣東のロシア總領事館、哈爾賓のロシア總領事館等に手入れした支那は、支那それ自身の內部に赤化の虞れがないと言へる乎。一時ロシアの赤い手と握手した現在の南京政府と國民黨は、今や著しく右傾し資本主義化したが、ロシアの第三インターと氣脈相通ぜる中國共產黨は猶ほ隱然たる勢力を有つてゐるではない乎。支那の共產黨員はこの滿洲にも潛入し、撫順特電によれば、撫順炭礦華工に赤化宣傳文を配布したといふ事だが、支那はこれを何と觀る乎。若し支那が眞に赤化防止を思ふならば、ロシアと事を構へて平地に波を騰げるよりも、獅子身中の虫とも云ふべき中國共產黨員の蠢動を取締るのが至當ではあるまい乎。

◇

詭計と詭辯的宣傳によつて國際場裡に或る程度までの成功を收めた支那は、今日でも結句それで成功すると思つてゐるかも知れないが、柳の下に何時も鰌が居るとは極つて居らず、そんな不正直な事がさう〳〵成功する道理もない。詭計と詭辯によつて他の正當且つ合理的なる權利を侵害し、仍つて以て飽くことなき國權恢復的欲求を達成せんとするが如きは、國際正義の斷じて許さゞる所である。今回の露支事件に對する列國の意嚮に鑑み、支那は省みて深く自己の心事を點檢し、不法行爲の決して成功すべきものでないことを深思すべきである。

海拉爾興安嶺の軍備を固む
外蒙兵に備ふるため

【哈爾賓】外蒙軍の策動開始の噂に驚いた支那側では西部線方面の連絡を側面から遮斷されるのを恐れ急に海拉爾興安嶺附近の軍備を嚴重にし外蒙兵が北上して西部鐵道沿線を襲擊し來たるのに備へてゐる

熙參謀長
作相氏に對して心中不滿

【吉林】吉林邊防副司令部參謀長兼吉林陸軍訓練處總練熙洽氏は副司令兼省政府主席張作相氏不在中は副司令代理として軍部を統督する外又省政府委員として主席代理をも兼任し、名實ともに張作相氏の唯一の輔佐役で頭腦及手腕の點からも吉林省文武官中熙氏の右に出ずる者はないと謂はれて居る、所が今回張作相氏が奉天より歸吉後熙氏代理中の成績に對し軍事方面は兎も角として行政方面に就いては事毎に滿足の意を表せざるもの少からずして爾來兩者間に若干意思の疎隔を生じつゝあるは窺知するに難からざる所であつて、熙氏は遂に窃に張作相氏に對し他に轉任方を懇請したことが一部軍界有力者間に洩れ傳へられて居る

饑民を煽動して反勞農の猛運動
メンシエビキ派が

【吉林】蘇聯邦國メンシエビキ派は中央政府に反感を有する饑民を煽動して全國的に反ボルシエビキ運動を起すべく畫策して居るが、最近國內一般に頒布した檄文の梗概は

反對黨のボル派は過去數回の黨代表會議に於て我が蘇聯邦國焦眉の急務なる食糧問題に關しては何等の討議を爲さず、唯自派の勢力擴張並に黨事業の發展にのみ汲々とし他を顧みざる結果國民一般は今や餓死するの狀態である、之れに反し吾黨は絕えず國家經濟國民生活の如何に根柢を置き殊に食糧問題の解決に向つて衷心努力して居るがボル派は之れを退け頑として我等の請ひを容れない故に國民は益々危態に瀕し其七十%は餓死旦夕に迫つてゐるの現狀である國民等よボルシエビキ派を徹底的に糾彈すると共に中央政府に對する彈劾運動を斷行せよ

國境軍隊檢閱

【吉林】吉林陸軍訓練處參謀長郭恩霖氏（日本陸軍大學出身）は今回時局に當り東支東部線及國境ポグラ方面出動軍隊の配備狀況檢閱の爲め去る二十五日吉林出發北上した

◇戰禍に怯ゆるボクラニチナヤ市全景◇

出動軍人の阿片吸飲を嚴禁
實行は到底不可能だ

【吉林】吉林邊防副司令張作相氏は今回露支時局のため國境方面に出動せしめた各軍隊の長官に對し前敵軍中に阿片吸食者あることは軍の指揮に莫大の影響を齎す殊に軍隊の幹部即ち將校にして斯る缺陷は絕對に許すべからず此際將校の吸食者は全部後送し以て指揮を一層緊張せしむるの要あり、故に各長官は右吸食者の有無を至急報告すべしとの軍令を發した、右に對し在吉林某高級將校の言に依れば、吉林軍中連長以上は其十分の三、四迄は殆ど阿片吸飲者であるから此際之等全部を交代せしめることは到底不可能であつて、恐らく軍隊の長官中眞面目にこれを處理するものはあるまい、張作相副司令の禁煙は徹底しては居るが實行は不可能であると

無線隊員出動
吉林から國境へ

【吉林】吉林邊防副司令部はポグラニチナヤ方面の軍情報告に軍令傳達の迅速を期する爲め吉林無線電信隊より技術員及將卒十數名を選拔し、長春無電臺備へ付の豫備機を携帶せしめて前日ポクラに派遣した、吉林無線分臺では露支時局發生以來人員を增加し晝夜兩班に分ち交代服務せしめてゐる

滿蒙殘留露人を獨官憲が保護す
代理範圍は政治的問題を除く
獨逸領事ス氏の聲明

【哈爾賓】獨逸領事ストツペ氏は北滿に殘留する勞農露國人の保護に關し次の如く露國記者に語つた

自分は駐支大使館を通じ本國から北滿に居住するソウエート露國人の保護をなすべき旨の命令を受けた、その區域は東三省特別區內及び奉天であるが實際には奉天は同地の獨逸領事に委任されてゐる、東支沿線の勞農領事館は自分の希望で支那側官憲の手によつて警備されることになつて居り哈爾賓總領事館員四名が居殘り領事々務以外の雜用を遣つてゐるが自分も時々出かける積りである、又自分の代理範圍は政治的以外のものゝみであるから政治犯に對しては全然責任を帶びないと

ポクラ領事ハルマ氏本國へ引揚ぐ

【哈爾賓】ポクラニーチナヤ勞農領事ハルマ氏は廿八日十七時廿五分當地着十八時卅五分發本國へ引揚げた

ゲペウの活躍

【吉林】信ずべき方面の消息に依れば、勞農露國は今回の露支時局に際し各方面のゲペウに對し南滿各地における白系露人の行動及日支兩國軍隊の移動狀況等細密に調査方を發したるが某地ゲペウは特に支鮮人の局員を選拔して長春、奉天、吉林、大連等重要都市に潛入せしめた形跡があると

北滿歐洲間の郵便通過徑路

【哈爾賓】東西兩國境が閉鎖されたので歐洲方面から當地への郵便物が如何なる經路を辿つて來ることになるかは今のところ全く不明であるが、當地より歐洲へ向け發送する郵便物は「米國經由」のものは一旦上海に廻送し同地から太平洋航路船に積込み又「西伯利經由」となつてゐるものは奉天に送り同地で日本の郵便局に引渡すことになつてゐる

李氏後防警備總司令となる

【哈爾賓】東部ポクラニーチナヤで支那軍隊を統率しつゝあつた吉林陸軍訓練總監李振聲氏は今回張吉林主席から後防警備總司令に任命されたが李司令は直に司令本部をポクラから百四十餘支里の馬橋河に置き國境方面のみならず東部沿線一帶の警備に當ることになつた

華兵千二百名練廻はる

【長春】長春南嶺駐屯の砲兵第十團第一營約一千名及び步兵約二百名は時節柄武裝姿もいかめしく砲四門を引出し二十九日午前七時から十時まで長春城內市中を示威行列した

對露戰に備ふ
東邊道警備隊

【安義】鳳凰城駐屯の東邊道警備隊は露支大激戰を豫想し先般來武器軍需品を秘密裏に整理中であつたが、昨今は右準備も完了したるもの如く全線附將校の談に依れば目下の處では奉天以北の軍隊のみ戰線に向つてゐるから、本道各部隊はたゞ一警備の任務に當つてゐるのみであるが若し大激戰となり出動命令でもあれば何時でも出動することが出來ると

內地遠征便り（二）

滿洲教專陸上部主將　柏木賓丸

京都からの第一信（二）

◇同十四日　午前十時神戶上陸、三宮驛前のホテルに旅裝を解く、眞に練習すべく方々のグランドに電話を懸けたが相憑日曜日で一つも明いてゐない。是非なく市立の某女學校に行つたが女學校なるが故にグラウンド使用を拒絕された。

◇同十五日　午前十一時東京驛着、野口先生、岡部先生、金栗先生、及高師競技部の人が出迎へに來て下さつた。渡邊兄と私は金栗、安田先生等日本を牛耳つてゐる諸先生と親くお話をする機會を得たことは大變嬉しかつた。席上野口先生から高師に入る約束を破つたことを野次られた。若しも野口先生のお話の樣にして高師に入學してゐたら、今日は主人役になつて教專の選手を迎へたであらう。二宮先生は川野君をコーチした先生で、鹿兒島師範時代の仇敵であつた二中の先生であつた。六年振りに先生にお目にかゝつて懷舊談をした、先生も川野君の話をして、今彼が來てゐてくれたらとしみじみと話された。九時歸る。

◇同十八日　正午から四谷直に岡部先生と滿鐵支社を訪問、選手一同は神宮外苑の青年館に行く、午後四時から練習、神宮競技場が隨分古びて見へるが芝生だけは大層美しくなつてゐた。場內には三高戰をひかへた一高の選手が三十人近く練習してゐた。一緒に練習さして貰ふ。

◇同十八日　メンバーの交換をした、高師のメンバーを手にしたそして不安は喜びに變つた。このメンバーであつたら大丈夫勝てると言ふ確心さへ得た。其の夜高師の歡迎會に行く。野口、二宮區の三河町で滿鐵支社の人達が歡迎會をして下さつた。戰ひに明日に迫つた、九時休む（第一信終り京都ホテルにて稿す）

ラヂオ英語講座

大連放送局七月卅一日午後七時三十分

講師大連彌生高等女學校茶谷茂

第十八回（第十八週第十二課）

A CAFE.　第十二回

1. Do you know any good cafe?
2. Yes, there is a good one in Naniwacho-dori.
3. Then let us go.
4. (At a cafe) Can you serve us any dishes?
5. (Waitress) Certainly, anything you like,
6. What do you like?
7. Anything will do.
8. Bring two dishes of fried oysters first,
9. This is delicious, isn't it?
10. Yes, very nice.
11. Give me half boiled eggs.
12. I like chicken cutlet.
13. You have kept us waiting very long.
14. I am sorry to have kept you waiting so long.
15. This chicken is very hard. I can't cut it with a knife.
16. (Waitress) What dessert will you take?
17. Have you any fruits?
18. Yes, we have any kind of them,
19. Give me apples.
20. Give me some oranges.
21. Waitress, two cups of coffee.
22. Do you take anything more?
23. No, we've had enough.

四平街

二人組強盗現れ警官銃取り應戰す

一名を斃し一名は逃亡

白晝街上の大活劇

二十八日午後二時三十分當地發祥街角支那雜貨商同生和方雇ひ店員が現大洋八百八十圓を電燈會社前なる人和興に携行すべく日進街と北大街との

十字街 に差蒐るや突如背後より二名の兇漢現はれ、拳銃を擬して威嚇し前記の金員を強奪して四平街公園方面に向つて逸走を企てた、一方被害者二名の店員は約四丁の間隔を保つて賊を追跡しつゝ中央大街派出所前に來るや馬賊々々と連呼し急を警官に訴へた、其際に折柄同所詰めの鳥巣巡査は此旨本署に急報すべく小使に命じ拳銃取る間も疾く單身賊を追跡して公園北端新グランドの入口にて賊を追ひ詰めたが、賊は一名の巡査が追跡すると悟ると猛然逆襲の姿勢をとり拳銃を擬して發射せんとする刹那、此時疾くも

鳥巣巡査 の放てる一彈は狙ひ違はず賊の胸部を射貫きて其場に斃したが、殘る一名は公園を圍繞する柴垣を楯に闘ひたがら頑強に應射を續け怯む色なき折柄、本署よりの應援巡査はサイドカーを驅つて現場に來り會した、斯と見た賊は強奪せる前記の金員を其場に遺棄して飜然逸走を企てたので、警官連は之を追跡したが賊は巧に高粱畑又は凸凹極まりなき箇所を選んで追跡を困難ならしめたゝめ警官の距離は步一步隔たりたる內賊は或窪地に身を潛め遂に蹤跡を晦ましたが、事件が往年

正隆銀行 を襲ふた馬賊事件と同樣眞晝間のことゝて市中の騷ぎは名狀すべからざるものがあつた因に遺棄せる金員は被害者に射殺されたる賊の死體は正規の如く支那官憲に夫々引渡された

遼陽

縣城教員三百名當局をへこます

講習會中止外二項を提示し同盟罷業を楯に貫徹す

遼陽縣教育廳長趙誠恕氏は全縣四鄕小學校教員三百餘名を招集して四大廟內市政公所會議室に於て講習會開催中の處廿七日午後に到り三百餘名の教員は講習を中止し縣公署に石縣長を訪問して

（一）講習會の即時解散（二）考試合格者は平等の待遇をなすこと（三）縣教育廳長李親學の罷免

以上三項目の實行を迫り、若し容れられざれば全部罷業すべしと強硬な申出でに對し、石知事は李親學の辭職講習會の停止を命じ、即日赴奉省教育廳に報告の上考試に合格したる者は等級を定めて給料を支給するも趙廳長は教育改善に功勞ある者故處分不可能の旨申渡し一先づ落着したと

財産臺帳引繼

滿鐵本社保管を沿線各地に移す

滿鐵本社主計課員三名廿九日來遼し地方事務所係員と立會の上遼陽管內の財産臺帳の引繼ぎがあつた因に財産臺帳は從來本社主計課に於て保管して居たのを今回沿線地方事務所保管に變更したものである

製鋼所問題で實業會を說く

鞍山の有志が

昭和製鋼所が鞍工場所在地たる鞍山に設置さるゝ事であつたのが途中から俄に新義州に變更される事になつたので、同地在住七千の邦人は一齊に起つて鞍山設置の運動に着手し、既に木下、加藤正副會長上京し政府當路に陳情中であるが、更に一層緊張したる運動の必要ありと、岡部、渡邊兩氏が廿九日來遼實業會有志と會見する處があつた、仄聞する處に依れば遼陽は鞍山と唇齒輔車の關係にあるので該運動の達成に相當援助する筈であると

西氏の篤志

遼陽在鄕軍人分會長西正之氏は三女正美さんの五七日忌明に香奠返しの意味で國柱會本部鄕里菩提寺遼陽小學校父兄會、青年訓練所等へ金一封宛を寄贈したと

公主嶺

馬賊團跳梁す

梨樹縣孫家子蔡家の西北方九十支里の地點に於て同縣公安局長の引卒巡察隊と陸軍討匪隊百餘名は高粱畑に潛伏警戒中、十數名の馬賊の移動を發見し包圍交戰一時間餘に亙り賊六名を射殺し四名を逮捕したのであるが討伐隊側も二名の死傷をいだしたと

◇

二十七日其筋に達した情報によると梨樹縣大手圖に現はれた十八名の賊團は同地通行の行商人を脅迫し金品を強奪し暴威を逞しうしてをるので、討伐隊六十名及第三區公安遊擊隊二十餘騎は出動搜查中である

◇

各自拳銃携帶の賊團三十六名は二十四日劉房子南方十五支里朱家大境の部落に一泊し、二十五日五臺子を通過、會屋家の柳樹林に移動し何事か策動しつゝあるので附近の住民は恟々としてをると

師團長出發

公主嶺駐剳騎兵第二十聯隊隨時檢閲の爲め來公滯在中であつた第十六師團松井將軍以下一行二十名は二十八日當驛發の北行列車にて長春に向け出發した

營口

コレラ樣の患者二名出づ

支那側日支共同防疫を申込み援助を依賴す

過般來上海方面に虎疫流行の報上海稅關長より當地稅關長に達するや稅關に於ては同方面より出入する船舶に對し檢疫を施行し居たるが突然支那側より當地日本官憲に對し二名の虎列拉樣患者發生の通知あり、一名は防疫醫院王醫官他の一名は舊市街の商人にして何れも激しき吐瀉をなし診斷の結果コレラ樣患者と診定され、防疫の徹底的斷行を計るには日支共同防止をなすの外なきにより援助を求むる意味の公文通知があつたので日本側當局は地方事務所會議室に會合し右に關する打合せをなしたるが、日本側に於ては參考の爲患者の檢便を致したき希望もあるよしであるから何れ其運びに至るであろうと

實業協議會

營口實業會議所では鞍山實業協會より昭和製鋼所設置問題應援依賴の件につき二十九日午後一時より協議會を開きたるが意見區々にして歸一する處を見ず贊否の回答は一時保留するに決し其旨回答した

野砲兵の見學

兩日全員來營

海城駐屯の野砲兵第二十二聯隊では全員を二十八、九の二日に分ち當地見學をなすことゝなり豫定通り來營したるが、午前九時四十五分着牛家屯のミスチエンコ將軍營口逆襲記念碑を訪ひ新築棧橋を見學し新市街に入りて營口神社及忠魂碑に參拜、次で遼河及河北驛の見學をなし午後三時二十五分發にて歸海した

貔子窩

郵便局新築さる

停車場を離れ不便甚し

貔子窩郵便局は現在の建物では執務其他に不便の爲め新築の計畫中であつたが、廳購買會南方に經費一萬四千圓を以て建築される事になつた、今回新に建てられる同局の敷地に付いては當局者も相當考慮したものとは思はれるが、將來の貔子窩として定められた市街地及郵便物に密接の關係ある停車場を後に、然も當地市街として發展の餘地のない西部に新築さるゝに就いては相當非難の聲が高い樣である、郵便物集配の迅速は其生命である、之が一般居住民に及ぼす影響は實に大なるもので之を新市街地發展上より見るも現建築法に依るときは餘りに嚴に過ぎ發展を阻止する事少くないので、臨時便法をさへ適用すると云ふ折柄一般居住民に最も關係深い郵便局を不便な地に移轉する事は矛盾も甚だしいものであるとの聲が高い

記者團來貔

滿洲日報其他の記者團六名は大連警察署高等係離警部補と共に二十七日午後七時着列車にて來貔、直に常盤旅館に投宿、旅館に於て民政支署、鹽業會社、當社支局等の盛大な歡迎會が催された、翌二十八日は民政署の案內で鹽業會社、農事會社水田、城子疃東老灘等の觀察をなし午後五時出發自動車にて普蘭店經由歸連した

署員精勤證授與式

當署庶務課では二十九日定期招集を行ひ午前十時より前川巡査以下十二名に精勤證授與式を擧行した

吉林

兵士を伴ひて邦商に亂暴沙汰

無法極る支那木材商

吉林某邦人木材商は豫て取引關係ある某支那人木材商より杭木賣渡代金一萬九千吊の請求を受けたが該支商は最初から暴行沙汰に愬ふべく計畫の下に屈強なる吉林駐屯軍兵士一名を同伴し來り未だ豫て約束の仕拂期日迄には十數日の餘裕あるにも拘らず即刻仕拂方を迫り、邦商の陳辯は一向聽き入れずのみか同件の兵士は矢庭に邦商に對し打つ蹴る等凡有暴行を加ふるに至つたので、家人は早速總領事館に電話を以て警察官の出張を請ひ警官と共に總領事館に同行中領事館前に到るや右兵士は邦商を捕へて無理やりに商埠地陸軍稽査分處に拉致した、所が稽査分處は管轄違ひとて一向取合はず更に公安分局に訴へたが是亦日本領事館に行けと突放された爲めすつかり豫定の計畫が水泡に歸したばかりでなく、件の兵士は反對に自己の不利益となつたので逸早く姿を晦ましたが一時は大騷ぎであつた

コドモページ

海の科學

くらげの話
海水浴場の邪魔者

はるみち

景　夏家河子海岸
人　一郎と一郎のお父さん

一郎。あゝいたツ!。
父。どうした／＼。
一郎。僕がね、泳いでゐるとね、何かチクリと肩のところを刺して行きましたよ。
父。くらげに刺されたのだらう。どれお見せ、あ、肩のところが少し赤くなつてゐる。そこいらをさがしてごらん、乾度くらげが居るだらうから。
一郎。あ、居る／＼、あれでせうか。
父。あれだ／＼、え?、つかまへるのかい、そんなことをして攫んぢや又刺されるよ。上の笠の方からつかんでごらん。
一郎。やあ、攫んだ／＼、こいつが刺したんだな、生意氣な奴だ。お父さん、これが足でせう。
父。さうだ、その足に毒があるのだ。
一郎。くらげは、まるでトコロテンみたいですね。トコロテンはくらげから作るのでせう。
父。いや、トコロテンはテングサといふ海草からつくるのだ。
一郎。くらげは食べられませんか。
父。種類によつては食べられるものもある。特に支那料理では海蜇と言つて珍重されてゐるが、それはビゼンクラゲのカサでこしらへたものだ。
一郎。こゝいらの海岸にも居ますか。
父。居るとも。傳家庄の海岸や小平島の海岸などによく乾てあることがあるが、ビゼンクラゲは素晴らしく大きなものでカサの直徑が三尺位もある。
一郎。さうすると疊位の大きさですね。
父。さうとも。
一郎。くらげは何年位生きて居ますか。
父。くらげは生長も早い代りに壽命も短くたいてい一年位しか生きてゐない。
一郎。他の魚はくらげを食べますか。
父。くらげを食物にしてゐる動物は殆どないと言つてゐゝ、それはくらげの身體が大部分水ばかりで食ふところがないからだらう。
一郎。くらげはいろ／＼種類がありますか。
父。種類は非常に多い、そして海水の濃度や鹽分の多少によつて種類が違ふからクラゲの種類を見ると海水の性質や潮流の状況がよく分るさうだ。
一郎。あ、あそこに秀ちゃんが來てゐる。秀ちゃんにこのくらげを見せてやらう。」

ニドメノ大チヤンノタンケン (78)

ハルミチ作　ジラウ畫

オヂサンハ　アレクルフ　ウミ　ソノトキハ　ホントニ　ウレシカレソラ　ドウナツタカ　オボノナカヲ　一シヤウケンメイ　カツタヨ　ヤウヤク　オヨギツエガナカツタガ　フト　キガツヌキテヲキツテ　オヨイデヰル　イラ　ボートニ　ノルト　ツカクト　オヂサンノ　ノツテキタト　スグ　メノマヘニ　一サウ　レノタメニオヂサンハ　ソノマボートハ　カイガンニ　ウチアノ　ボートガ　ウイテ　ヰルヂ　マ　ボートノナカニ　タフレテ　グラレテヰタ。ソノ　カイガンヤナイカ。　シマツタ。　ガ　コノシマナノダ。

夏の金剛へ
楠公の遺跡を訪れて (七)

大連大正小學校長　湯下誠一郎

頂上へ

かささぎに似た鳥の聲を聞きながら、電車のきしるやうな聲で鳴く鳥の聲を聞きながら、頂上へ三百米突といふ地點に來ました「金剛山名所案内」といふ案内板が立てゝあります。「頂上僅か數丁ニセマル各員奮勵努力セヨ」といふやうなふるつた言葉も書いてあります。天を摩する杉の大木、小暗く茂る杉の密林、深山です。冷氣はだにせまり靈氣は魂を清めます。」楠公の本城趾は畑にすきかへされて見るかげもありません。」二聲三聲。のどかにをんどりが時を告げて鳴くばかりです。山上に煮賣屋があります。ゑはがき屋があります。楠公の用水といふのが強く私共の心をひきつけます。「楠公の用ひし水と尊かり」の一句が書き添てあります。自由にお飲み下さいとも書いてあります。つゝしんでこれをいただくと急に忠義が出來さうになります。聖の宮城趾前には珍しい楠公手植の櫻があります。山上には葛木神社が再建されようとしてゐます。暇娶島神社があります。雄略天皇の御獵場の跡があります。それをのこらずめぐりめぐつて世のうつりかはりを考へて見ました。大連を立つ瞬間まで何にも考へなかつた此の山に湊川神社にお參りをした其の時から急に訪ねて見たい心になつたのもふしぎでならぬことでした。二十年も前に別れた友達と出合つて二人で手をとりあつて此の山に來たのもふしぎなことの一つでした。私のたましいは此の山に登つて大へん強く大きくなりました。又大へんきれいになりました。大連へかへつてからは、今までよりもつと精出してはたらく覺悟です。(完)

星ケ浦聚落より

聚落主事

海に憧れた三百の兒童は汽車が大連に近づいて窓から海が見えはじめると、「海だ／＼」と連呼した。
滿鐵の海濱聚落は沿線を三期に別ち、第一期は奉天春日校及其以北七月十六日から八日間、第二期は七月二十五日より八日間奉天敷島、彌生、附屬及遼陽以南、第三期は八月三日から八日間撫順及安奉線の學校各期約三百名の男女兒が八名の水泳教師に指導を受け、各校附添教師に萬端の指導を受る。
◇水にあこがれた河童の群は海に浸つて濆然になる。上ると食堂では大釜の飯が瞬く間になくなる。今年は炊事がよいので毎日變る献立に舌鼓を打つ、おしるこ、あめゆ等の間食も出る。
◇「もう少し居りたいなー」とは彼等の偽らの叫びであつた。かくて海の生活に鍛へられた子供等は歡びと健康とをおみやげに再び汽車に揺られて夫々の家庭へと歸つてゆくのである。

アブナイ　アブナイ
オチタラ　タイヘン

アメリカジン　ハ　トキドキ　オモヒキツタ　ハナレワザ　ヲ　オコナツテ　ヒトビト　ヲ　ビツクリサセマス。コノ　ジヤシン　ヲ　ゴランナサイ。イマ　ヒトリ　ノ　ヲトコ　ガ　九カイ　ノ　ビルデング　ヲ　ハヘノ　ヤウニ　イシ　ニ　ツカマツテ　ノボツテ　イキ　マス。チヨツト　デモ　テ　ヲ　ハナシタリ　アシヲ　フミスベラシタリ　シタラ　マツサカサマ　ニ　オチテ　シンデシマハナケレバ　ナリマセン。ナント　アブナイ　キヨクゲイ　デハ　アリマセンカ。

兒童の作品

しくぢり

金州小學校六年　太田文子

今日のお裁縫の時間であつた、昨日の形紙を持つて裁縫室に入つた。間もなく始まりの鈴がぢりぢり／＼と鳴り響いた。私は早速席に着いた。先生はにこ／＼笑つて居られる。私もつい見とれてにこ／＼顔になつた。先生が「昨日は何をしましたか」と皆に聞かれたので私は「簡單服のたち方をやりました」と答へた。先生は次に此のたち形を造るには何が一番必要ですかと問はれた。誰かゞ「胸圍尺」と答へた、こんな風にして時は段々進んで行く。今日は昨日の續きをやるのです。皆先生の言ふ通りにさつさとして行く。先生は私に、もう切つてもよいです、とおつしやつたので私は切り始めた。切つて行くと島田さんが「あつ」と言つて自分の方を見て居た。私は自分のでよいと思つて段々切つて行くと島田さんが先生に「先生あんなに切るのですか」と聞いたので、私ははつと手を止めた。先生は私のを見て「あれ／＼、きりそこなつたのね、まあついだらよいでせう」と言はれて又「皆さんちよつと來てごらん」といつて島田さんのを切り始めました。私は切つて行くにしたがつて先生の有難さがしみ／＼感ぜられました。

入露した白系露人 赤衞軍に虐殺さる
滿洲里國境を突破した千五百名 確報哈爾賓に達す

【ハルビン武田特派員三十日發電】前に滿洲里國境を突破して入露した白系露人千五百名はマツエフスカヤとダウリヤとの中間部落において赤衞軍に包圍され全部虐殺されたとの確報當地に達し、白系間に非常な衝動を起してゐるが、該白露人は一揆を起すため潜入せるものゝ如くである、尚虐殺が行はれたのは二十八日の夜であると

青中軍再び慘敗
大いに奮闘したが効なし 對大連一中陸上競技

青島中學與大連第一中學校陸上競技會は三十日午後一時より大連運動場に於て擧行された青中は前日の慘敗に鑑み百米突、四百米突に奮闘したが結局四十七點對二十八點の差で敗れた、成績左の如し

△百米（一中六點青中四點）▲一着坂本（一中）十二秒一▲二着小島（青中）▲三着廣瀨（一中）▲四着世波（青中）

△三段跳（一中六點青中四點）▲一等渡邊（一中）一一米九八▲二等渡邊（青中）▲三等原（一中）▲四等世波（青中）

△八百米（一中七點青中三點）▲一着宮前（一中）二分二十二秒四▲二着石川（一中）▲三着菊池（青中）▲四着田中（青中）

△走高跳（一中七點青中三點）▲一等港川（一中）一米六〇▲二等原（一中）▲三等小島（青中）▲四等渡邊（青中）

△四百米（一中三點青中七點）▲一着松原（青中）五十七秒五▲二着渡邊（青中）▲三着中島（一中）▲四着宮前（一中）

△走巾跳（一中七點青中三點）▲一等湊川（一中）六米十三▲二等渡邊（一中）▲三等世波（青中）▲四等小島（青中）

▲千五百米（一中七點青中三點）▲一着石川（一中）五分十秒▲二着岡見（一中）▲三着安永（青中）▲四着菊池（青中）

△八百米リレー（一中四點青中一點）▲一着坂本、廣瀨、名越、湊川（一中）一分四十秒五▲二着松原、小島、世波、渡邊（青中）

▲總得點　一中四十七點、青中二十八點

尚三十一日午後一時よりは大連商業學校との對抗戰がある

涼しい船の旅・日本一周旅行團
愈よけふ限り申込締切（B級滿員）

三日目の大相撲 さらに人氣湧く
本社の個人決勝で 羽後響、石山屠つて優勝す

日本大相撲も三日目の三十日になると流石に人氣は高調し正午ごろ既に滿員の好景氣である、武藏山に天龍其他の御好み取組、常陸島に玉碇の初つ切り或は飛付き五人抜等の番外ありヤンヤと場內湧きかへる、午後三時四十分から人氣の中心たる本社主催幕下力士の個人決勝戰が開始され白熱戰を演じた結果、仙臺、羽後響、太勝山、石山の四力士殘り更に覇を爭ひ仙臺に羽後響は羽後の勝、太勝山に石山は石山上手投にて勝つ、三等は仙臺太勝山に勝つて入賞し 羽後響、石山の決勝戰に羽後遂に寄切つて一等となる、終つて本社の賞金を授與された、中入後の勝負次の如し

▲藤ノ里（寄り切り）常盤野
▲高ノ花（吊やぐら）栃ノ森
▲出羽ケ嶽（下手投）若常陸 立上り激しく突合ひ機を見て若寄切らんとせしが出羽小手投を打つて勝つ
▲常陸嶽（送り出し）綾櫻
▲常陸島（下手投）大島
▲天龍（下手投げ）和歌島 一合の後双方投げに吊りに激しく戰ひ和歌の下手投を打たんとするを天寄り進みて土俵際にて下手投を打つ
▲新海（吊り出し）外ケ濱
▲玉碇（下手投げ）武藏山 初め玉寄切らんとして成らず今度は武藏吊出さんとすれば玉良く殘して下手投にて勝つ
▲若葉山（寄り切り）大ノ里 大の一氣に寄らんとするを若良く殘せしが大の再び寄り進み遂に土俵正面に寄切る
▲常陸岩（寄り切り）信夫山 立上り右四ツ信夫一度は常の寄りを返せしも常休まず一氣に遂に寄り切る
▲常ノ花（下手投げ）山錦 立上り右四つ山一氣に寄り常一寸危かりしが直ちに寄返し土俵際にて下手投を打つ。打ち出し七時四十分

なほ御好み相撲取組結果次の如し

和歌島（ふみこし）新海
山錦（吊り出し）外ケ濱
天龍（小手投げ）武藏山

因に四日目の御好み相撲並に取組左の如し

常の花―若常陸、常陸嶽、信夫山、新海、山錦

四日目取組

栃の森	藤の里
大島	高の花
綾櫻	出羽ケ嶽
若常陸	常陸島
外ケ濱	天龍
和歌島	常陸嶽
山錦	玉碇
信夫山	若葉山
玉錦	新海
大の里	常陸岩
武藏山	常の花

遙々とライター七隻が 内地から曳かれて來た
玄海黃海の荒波を乘切つて 修繕の上更に天津へ身賣り

目先の早い商人がこれなればと見込みをつけて呉軍港からライター七隻曳船七隻を購入したは既報の如くであるが、買主市內藪河町五番地昭和盛はこの購入船を遙々內地から廻航、去る二十五日仁川にやつと辿りつき、更に波浪を乘切りく卅日朝漸く大連に姿を現した、附添の男は陽にやけた黒い顔に冒險でしたよ、速力が出せないのでボツく四哩の速さで來ました、こちらでマスト、ウインチ等をライターにつけるつもりでゐます、修理の完了次第天津に更に廻航しますと語つてゐる、遠い海路を運ばれたライター曳船は濱町海軍棧橋横に一時繫留した

今日は土用丑の日
來たわく健康長壽の土用鰻 朝鮮青島から二百五十貫

今三十一日は土用丑の日で長い物を食べて一年中の健康、長壽を願ふ日だ、土用鰻と言つて今日一日に市中に出た鰻の量は大變なもので釜山から送つて來た朝鮮物の上等が百五十貫、青島方面から來た山東物が百貫で一寸平常の半月分を一日で捌いて了つた譯だが市場から廻つて一般家庭の食膳に上るのは山東物では常は小賣値段一圓內外だが今年は品物が少かつた爲め大分好い値になつたらしい、尚最近當地露西亞町海岸でも大分とれる樣になつたが朝鮮產の上物は皆料理屋に行き是は値も一圓七八十錢位で美濃町の仲原商店が一手で捌いて居る

懸賞 論文審査所感

之といふものは概してなかつた A審査員

懸賞論文は應募數が意外に多かつたのと社內の審査員が、いろいろの用件で之に沒頭出來なかつたために審査が甚だ遲れたのは應募者諸氏に申譯けがない、但此點宥恕を乞ふ次第である、然し審査は頗る愼重に行ひ大體に於いて安當と考へられる歸結を得た積りである、然しながら命題の出し方が面白くなかつたゝめか又趣旨が徹底しなかつた關係からか應募論文の中に「之れは」と飛びつくやうなものゝ無かつたのは遺憾に思はれたが兎に角相當念を入れて書かれた力作と思はれるものゝ少くなかつた點に對して應募者の努力を多とする

一氣に書いた手際をとる B審査員

入選の金丸氏は滿蒙問題を一通概念的に說いてゐるのであるが斯うしたものの中で文章が最も優れてゐた。兎に角讀ませらるゝものを一氣に書いた其手際は鮮かである。高野氏は十年間の體驗を基礎として滿洲初等教育の現在及將來を論じてゐる、內地延長主義の教育を難じて獨自の滿蒙教育の必要を說き、滿洲兒童の優秀雖及び其の缺點を詳述し、支那人教育に對する同化主義の非を論じてゐる。同じく教育問題を取扱つたものが他にもあつたが此の人のものが最も整つて居り且つ其の論旨に首肯せらるゝ點が多かつた、福田氏のものは文章が好いわけでないのみならず隨分誤字が多くて惱まされた然し其の構想の巧みなことゝ言はんと欲する熱情の溢るゝ點を採る、一通の滿蒙の風物とを叙景し之に妥當な論旨を織り込んで書[illegible]文とした手際は惡くない、大貫氏の滿蒙の理化學的開發論は一寸變つて居り首肯せらるゝものが多い、岡川氏のものは書き出しが論文で後の方が旅行記になつてゐるのが變だしかし蒙古の風物をよく描いてある點を採つて八坂氏は詩を書いてゐる、文藝作品た、あまりに外國文藝や其の作物を列べ立てたのが面白くない、も少し何とか書き方がありさうなものである

總べて千篇一律 若人の夢が欲しかつた C審査員

滿蒙問題に就いて何人もが異口同音に言ふ千篇一律の文句を並べたものが極めて多かつた、而して或者は徒に悲觀絶望してゐる、或者は徒に大言壯語し、斯樣な調子のものは其の趣旨に於て好ましくなかつたのみならず文章としても採るべきもの無かつた我々は滿蒙の一角に立つて大和民族將來の高遠な理想を說く弁放な若人の夢の描かれたものを欲しかつた、或は又切實なる自己の體驗を基礎とし其の視野に映つた透明な滿蒙觀が欲しかつた、然し不幸にして左樣なものは得られなかつた、單にパツセンジヤーとしての滿蒙觀、滿蒙年鑑乃至滿鐵旅行案內から生まれた滿洲紹介斯うしたものゝ甚だ多かつたことを遺憾とする

題名に惱まされたらしい D審査員

應募論文を見ると何うも題名に惱まされたらしい「論文」と云ふ堅い感じと「滿蒙の地より母國の友へ送る書」と云ふ柔い感じと、その調和を如何にすべきかと云ふ點で苦心して居たものが尠くない、一部分の問題を捉へて書いてもよいと斷つてあるため「豆粕に就て」とか「奉票に關して」とか云ふ風に、一問題を捉へた經濟論文が大分あつたが之等は何れも其命題に當て嵌らぬと云ふよりも其の內容無味乾燥に墮し、此種新聞の讀物として面白くない點で採らなかつた、入選佳作の中池田氏の分はその論旨必らずしも警抜ではないが經濟的に見た滿蒙論として頗る着實且つロヂカルな點はこの種論文中の白眉、また江口氏の分は餘りに前文が管々し過ぎた、いろいろな實際問題を綴ひまぜてあるだけに滿洲經濟事情紹介にはよいが論調一たいに低く、且つ雜漢で、結論もしたがつて力弱いのが缺點、なほ落選諸作の中にも、これを部分的に見ると却々いゝものがある、一々細評は避けるが着想の奇拔なものや、尊い體驗の現れなどがあり、捨て難いものも尠くなかつた、到底入選の價値はないが特殊の意味で面白いものに伊藤氏の「煩悶掃夫の見た大連の實相」や中谷氏の「蒙古方面の風物」を書いたものなどがあつた

籠球試合日程
芝罘YMCA

既報芝罘YMCAバスケツトボール・チームの大連に於ける試合日程は次の如く決定した・尚コートは何れも工專戶外コートで雨天の際は二中の室內コートで行ふと

▲對大連市（七月三十一日午後三時半）
▲對大連一中（同日午後五時半）
▲對工專（八月一日午後五時半）
▲對大連YMCA（二日午後五時半）
▲對工專（三日午後五時半）

阿部選手惜敗

【シーブライト（米國）二十九日發電】男子庭球インビテーション大會で阿部民雄選手は米國選手ストラハンと對戰し六對四にて惜敗した

凡ゆる方法で節約を宣傳
政府が委員會を組織して全國に亘つて行ふ

【東京特電三十日發】金解禁の前提として行財政緊縮並に國民節約の必要を中央、地方に徹底せしむるために政府は全國的に一大運動を起すことゝなり、具體案協議中であつたが、漸く成案を得たので近く濱口首相、內務、大藏、文部三大臣の決裁を得て、直に實行に着手することゝなつた、右計畫は大體中央機關として安達內相を委員長として內務、大藏、文部三省關係者及び貴衆兩院議員、學者、實業家等約三十名を以て委員會を組織し委員自ら各地方に出張、宣傳に努めると共に、全般の聯絡指揮に當り、宣傳方法としては講演パンフレツト、映畫、ラヂオ等を出來得る限り活用し各地方は府縣知事を中心に活動せしむるはずで來る八月五日開會の地方長官會議において詳細打合せをなす筈

大連神社月次祭

來る一日の大連神社の月次祭には氏子代參番町松山町區の氏子役員參列の上午前十時より月次祭典を執行する

梅原師講演

若草山本派本願寺に於ては來る八月一日より五日迄毎朝五時より例年の通り曉起修養會を開催前龍谷大學教授梅原眞隆師を聘し「淨土眞宗」の講題のもとに連續講演を公開する外特別講演會を八月三日午後八時より佛教青年會主催にて播磨町大連幼稚園、八月五日午後三時より滿鐵社會課主催にて協和會館に於て開催する

大藪氏送別會

曾て全支那寫眞サロン委員長たりし大藪幹太郎氏が今回東拓を辭し東京に移居するので同氏送別會を來る三日午後六時卅分よりホテル屋上に於て開催會費四圓申込は西廣場土田寫眞館、近江町東拓支店內岸井保迄

精勤巡査表彰

大連署では既報の通り三十日午前八時二十分より振武館講堂において精勤證書授與式を擧行したが同時に高山署長の訓授あり、奧巡査受賞者總代として答辭を述べたが受賞者氏名左の如し

池部通男、保坂昇、針木泰雄、鈴木賢治、河野龍藏、藤吉繁吉、奧清三、佐々木喜助、齊宗三、岩垣覺二

尚終つて土用稽古の皆勤者百八名に對し賞狀を授與した

湯淺氏令孫

湯淺秀富氏令孫秀一（二つ）は心臟病にて大連醫院に入院加養中三十日午前一時遂に永眠した

けふのラヂオ

昭和四年七月卅一日（水曜日）

自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）

自午後零時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース

自午後三時三十分 相場（錢鈔、株式、各地相場）ニユース

自午後五時 日本大相撲連絡放送

自午後七時三十分

一、ニユース
二、英語講座（第十二課カフエー）大連彌生高等女學校茶谷茂
三、マンドリン獨奏（イ）ガボツト（ロ）第十前奏曲ガラーチ作 伊藤十五郎
四、浪曲萬歲 踊樂キートン、木村コノエ
五、支那唱（西廂）唱王桂寶、徐月亭
六、料理獻立
七、天氣豫報

大連關告示第三八七號

北滿貨物ニシテ哈爾賓海關發給ノ納稅濟證ヲ有シ且哈爾賓ヨリノ連絡鐵道輸送證券ヲ所持スルモノハ納稅濟貨物トシテ當港輸出ノ際免稅ス

但シ右規定ハ輸送ノ途中ニ於テ改裝セラレザル貨物ニ限リ適用ス

右總稅務司ノ電命ニ依リ告示ス

昭和四年七月三十日 大連關稅務司 北代偶幸

愛慾の窓（55）

戸川貞雄作 淺枝次朗畫

金（一五）

「……何を云つてるんだ！ 君は僕を誤解してゐる！ 僕はね、君が金で僕を沈默させようとした態度に對して、一寸皮肉を云つてみたまでの話なんだ！ 五百圓を千圓にしてみたところで、僕は君に買收されやあしないよ」

久彦は亢奮しながら遮り叫んだ

「……金、金、金！ 君たちブルジョアは、何でも金で片附けようとする癖があるんだねえ！」

「はゝゝゝ、さうムキになり給ふな！ あやまる、あやまるよ」

と、英輔は冗談めかしていひながらも、狡さうな眼眸で、久彦の顔色を窺ふことは忘れなかつた。

「……で、メリイ、ダンス、ホールの一件は、君の手で調べたのかい？ 何うも報酬の至りだ、が、君、ありやあ相手が惡かつだんだ そのうち何とか金で片附けるつもりで好い加減にあしらつてゐたんだが……」

「……はゝゝゝ、直それだ！ ぢやあこの物的證據を、買上て貰はうかね」

と、久彦は内ポケットから文殻の一束を取出してみせたが、英輔の手がそれへ伸びると、笑ひながら直ぐまたしまひ込んで

「と、云ひたいところだが、僕はね、金には轉ばない。その代り、要求があるんだが、肯いて貰へるだらうね」

「……何なりと肯かう、から首根ッ子をおさへられちやアかなはない」

「……では云ふがね、小森君！ 君はあの仁科美知子といふ人を、何ういふつもりで弄ばうとしたの？ 僕はね、それを君の一寸した出來心と默殺したいんだ」

と、久彦は眞顔で云つて、ちつと英輔の顔に目をつける。

「で、昨夜の君の惡戯を、君は忘れてくれるんだ。もう二度と再びあんな惡い冗談は仕掛けないやうにして貰ひたいんだ。勿論、今後も、何事もなかつたことゝして、君の社に勤めさせて置いてほしい……君の方は戯れでも、相手の方は極りが惡く、もう勤めには出ないと云つてゐる。君の戯れのために、罪科もない婦人が、生活を失ふんだ、氣を附けて貰ひたいと思ふな……」

「……あやまるよ！ 昨夜は僕、醉つてゐたんだ、ほんとにあの人には惡いことをした。氣にしないで今までどほり勤めて欲しいね、これはむしろ僕の方からお願ひすべきことなんだ……」

英輔は神妙に云つた。

「それを聞いて僕も安心した。ではね、今後は僕が仁科美知子さんの保證人とならう、いゝだらう？ さうすれば君もまさか、二度とつまらん惡戯をあの人に仕掛けることも出來ないだらう……」

「はゝ、大丈夫だ、君からも仁科君にはよろしく傳へて置いてくれたまへ、今、唐突に社を退かれたりしちやあ、僕も困る……」

英輔は、またぐいとビールを呷つた。

「……では、僕はそろそろ失禮する。いづれ君の盛大な結婚の宴には招待していたゞきたいね」

と、久彦は席を起つた。

「……さう運んでくれりやあ、いゝんだが、草野君、頼むぜ、友永の方へは、好い加減なところでお茶を濁して置いてくれたまへ！ 纏まりさへすれば、僕は君に感謝する、きつとその謝意を表するよ、頼む」

英輔は、手を合せる眞似をしたりした。

久彦は心の奥で苦笑を洩らした

馬鹿にするな！

英輔は、わざわざ長い廊下を、玄關の間にまで、久彦を送つて來た。

滿日文藝

滿日川柳

「暗號」 篠田師竹選

電文の意味は秘書役丈けが知り　沙河口 水母

暗號で注文が來る大手筋　旅順 榮丸

暗號で惚れたは路次へ呼び出され　春川 篤棲

暗號でそつと逃れ出す舞妓の目　旅順 自榮

算盤を斜に彈いて値がきまり　沙河口 素扉坊

順調な暗號相場師輕く醉ひ　旅順 薔水

壁一重トントントンと無が來る　金州 案緑

奉天 瓢六

暗號を一つ變へるソーダ水

五 客（選者賞）

大連 高橋月南

暗號の手紙へ母は輕く聞き

旅順 柳玉蝸月

知つて居る給仕折々揺らされ

沙河口 川村ヨシ

目で知らす合圖は顔で返される

大連 渡邊木の葉

信號所秘の秘を天下晴れて響き

撫順 松浦しけを

暗號はそつぽを向いて床を踏み

人 位（本社賞）

滿鐵朝陽鎮 舟田杏堂

アノソレで解つて夫婦仲がよい

地 位（本社賞）

旅順市明治町 天河天坊

空線利振つて裏所走る眞似

天 位（本社賞）

沙河口霞町八丁目南一三

合印大工へのへを釘で書き　案寢坊

選者吟

暗號で同類同志うまが合ひ

川柳八月課題

八月五日締切 「夏服」 小國新生選

八月十日締切 「薄物」 藤原可居選

八月十日締切 「顔役」 高橋月南選

△各題必ず別記用紙はがきの事

滿日社文藝係

水府先生歡迎川柳會

大阪番傘川柳社主宰岸本水府先生の來滿を機とし八月十日町南華園に於て歡迎川柳會を開催す奮つて御來會あらんことを

一、宿題 「傘」先生選、「汗」互選
一、締切 八月五日着便（各題三句別記）
一、投句所 大連市龍田町一三七高橋月南宛

主催 大連各川柳會有志
後援 滿洲日報社

新刊紹介

▲伊藤痴遊全集（第十二卷）第五回配本明治暗殺史、佐久間象山紀尾井坂の兇變、阪垣の遭難外八篇海外雄飛豪快傳（續）沢藤重禄の末路日露爭聞の端外八篇を收む、四六版布表裝四一五頁東京市麹町區下六番町一〇平凡社

▲明倫論壇（八月號）東京市芝區田村町六十番地明倫會出版部定價十錢

▲福井評論（七月號）福井市佐久良下町二七福井評論社（定價二十五錢）

▲三重（七月號）三重縣津市西裏町一一三四三重玄黄社（定價三十五錢）

▲朝鮮消防（七月號）朝鮮總督府警務局内朝鮮消防協會（定價十五錢）

▲實業青年（八月號）東京市麹町區平河町六ノ二四實業界社内實業青年修養會（定價二十錢）

▲女性と滿洲（七月號）大連市常盤町一番地女性と滿洲社（定價十錢）

▲滿蒙パンフレット（商租權に就て）（第四號）大連市紀伊町九十一番地中日文化協會

▲療養春秋（創刊號）東京市赤坂區青山北町六丁目五十五療養春秋社（定價卅五錢）

▲戯曲福澤先生（土屋大夢著）著者は福澤先生に多年親愛して交遊あり、先生の氣宇、抱負、識見、理想、趣味等を描いて四幕物に創作し先生の面目躍如たるものがある、戯曲の外多數の口繪先生の言行錄、甲東先生五十年、琵琶歌愛別離等を添ゆ（四六版一五〇頁、一圓二十錢大阪市南區上本町大阪出版社）

▲神道の友（八月號）東京市牛込區大神町卅五双人社（定價二十錢）

▲三曲（七月號）東京市牛込區原町十美妙社（定價三十錢）

▲國（七月號）西宮市西濱新家二二七五關西藝術新聞社（定價十五錢）

▲農業の滿洲（七月號）大連市伊勢町八十五滿洲農事協會（定價三十五錢）

▲少年俱樂部（八月號）特大號として特選繪はがき四十枚つきにて讀み物としては猛獸狩の話數篇、家なき兒、眞田幸村、苦心の與友等が滿載されて居る、東京、本鄕區駒込坂下町四十八大日本雄辯會講談社（定價五十錢）

▲佛蘭西文學 東京府井荻町上荻窪四三七書郊社（定價二十錢）

▲實業公論（七月號）東京市牛込區矢來町一一實業公論社（定價二十五錢）

▲ぬかご（八月號）東京市麹町區丸の内三丁目十二番地ぬかご社（定價五十錢）

▲白頭豕（七月號）大連市西公園町百四五大連川柳會白頭豕發行所（定價二十錢）

▲近世實錄全書（第二十卷）明治實錄の第四、高橋お傳、鳥追お松、縮妻のお波、明治大一代男の仇討、栗原百介傳の六編にて高橋お傳は假名垣魯文の名作で明治初年における毒婦お傳の一生を綴つたもの鳥追お松は妖婦として美人なるお松の罪惡譚等何れも明治初年當時の世相を知るべき好資料である、四六版東京牛込早稲田大學出版部

▲東亞貿易研究（八月號）大阪市役所產業部調査課（定價三十五錢）

▲雄辯（八月號）「現代世界巨人批判號」として植原悦二郎、鈴木文治其他著名の人士及英國宰相米國大統領等を俎上に乘せて批判論評をして居る（定價五十錢東京大日本雄辯會講談社發行）

撫順の不穩ビラは甚だ重大視さる

國際赤色デーの準備と判明　共產黨支部がある

撫順に中國共產黨の不穩ビラの現はれたのは今回が二度目で第一回の本年五月末例の五、卅事件記念日に今回と同じく中國共產青年團滿洲省委員會の署名入りで不穩ビラが

撒布 されたのを除き從來は僅かに中學生の排日ビラ撒布位しか起らなかつた場所で炭坑從業員が多數存在してゐる丈けに滿鐵では今回の事件に深甚の注意を拂つてゐるが消息通の語る處によると本年に入つて以來上海方面から青島其他を經て約卅名位の工人運動の指導者が奉天方面を中心に潛入して活動を續けてゐるとの事で既に奉天城内の染織勞働者、靴工等約千名が組織され邦人關係の製麻紡織工場等迄魔手が伸びつゝあり民族的偏見、反感を勞働者の經濟運動と結び付けて例の

國權 恢復運動に利用せんとする支那側の狡猾なる常套手段は今後愼重なる態度を以て監視すべき問題となりつゝある、尚今回の不穩ビラは約三十種に上り、赤い色紙で幅五寸、長さ二尺餘の色紙に墨書せるもの、中紙型白紙に赤刷のもの、其他パンフレツト等で何れも過激な文字に充ちてゐるが注目すべき點は左の諸點である

一、今回の擧は例の八月一日の國際赤色日（第三インターの制定せる歐洲大戰勃發記念日）の準備として行はれたことを明記せること

二、各種のビラを通じて「張學良打倒」「奉天軍閥資本階級打倒」が多く「革命ロシアを護れ」や中には「今回の東三省軍閥による東鐵回收は日本帝國主義に讓與する爲めである」と記したものがある

三、東三省内の何處かに確實な中國共產黨滿洲支部が設置されて居る模樣で、露支關係の解決が永引き奉票が下落を續けると其隙に乘じて宣傳、煽動を行ひ全滿的赤化運動の導火線たらしむべく準備的活動を爲しつゝあるものと觀測されること

過激思想を演說でも宣傳す

宣傳員は變裝し潛入

【撫順特電三十日發】昨報の如く二十六日撫順に於ける共產黨員の不穩宣傳ビラ撒布事件の犯人である撫順に潛入した宣傳員は滿海線撫順站より約五十名變裝して撫順附屬地内に潛入、彼等本來の過激思想に炭礦中國勞働者の直接利害關係を巧に織まぜた宣傳不穩文を附屬地內外の一味の者と策應し用意の宣傳ビラやパンフレツトを數萬の華工全部に撒布し一擧に何事かを策動せんとしたもの丶如くである、尚一味は宣傳文配布と共に不穩計畫遂行の爲全坑の各所に宣傳員を派して苦力を集め慷慨悲憤的の演說をも行つたもの丶如く二十四日古城子大把頭王深厚が千金寨方面に赴く途中日本町停留所方面道路北側にて附近の華工を集め身なり卑しからぬ三十年輩の宣傳員三名が宣傳文以上の極端なる不穩思想宣傳の演說をなしてゐたと

日獨對抗競技は滿洲選手が中堅

注目される對京大戰　歸連した岡部平太氏談

今秋奉天において開催さるゝ日獨陸上競技打合せを兼て初めての內地遠征の途に上つた教專選手の監督として上京中であつた滿鐵運動會の岡部平太氏は卅日入港はるびん丸にて歸連したが「よく教專が勝つてくれましたよ」と心からうれしそうに語る

日獨競技の件について色々東京方面と打合せて來たまだ

出場 選手の顏觸れは定つてゐないが矢張滿洲選手が中堅になる事となるだらう、今後種々の競技について作られた滿洲記錄の保持者を出場させたいと思つてゐる尚短距離界に岡、仲田、南部等の好い選手が居るからこれが恐らく働いてくれるであらうと思ふが、最も注目されるのに來月十七、八兩日に亘つて大連運動場で行はれる京都帝大對滿洲との競技會で、何分

京大 には相澤なんと云ふ日本一の短距離界の親玉が居る事だから非常に興味ある試合が行はれる事となるだらうと思つてゐる、で內地の運動界でも此競技は日獨競技を控へて多大の注意が拂はれてゐる、又自分は教專について東京廣島と二度の戰ひに臨場したが選手のチームワークが大變よかつたせいか幸ひ大勝する事が出來たこの點は賞めてやつて下さい

規律のある自由から樂しく健康な生活

彌生高女生の聚落

【下】

水の青さ、砂の白さ、木々のみどり、風の涼しさに包まれた柳樹屯小學校は事實おあつらい向の聚樂地である、型の如く澄田校長の開所式と云つた挨拶がありまづ最初の日程に移る「〇〇さんと〇〇さんは私について來なさい水瓜を買ひに行くので」阿山先生が巾の廣い麥藁をかぶつてのオヤツの買出しは二人

引張つて町に出る「水瓜丈じやあ可愛そうだから今日はグリコを一箱づゝ添えてやらうぢやありませんか？」裏の宿舍におさまつた附添先生達の重大な協議の結果この日のオヤツは水瓜にグリコと決定

◇　◇

とかくする內に柳樹屯にしては聞て無かつたらうと思はれる位な文化の香ひ高いメロデイが講堂から流れてくる、一年生のいたづらツ子が技師で早速蓄音機が掛けられたのである、行きづりの支那人がポカンとして講堂の窓を眺めてゐる、そのうち小さなノツクがしたかと思ふと「先生町に買物に行つてもよござんすかお土產を買い度いんですが」瞬間先生方の目玉が一樣にギヨロりと光つて先生らしいおごそかな聲で「いけません、も

うすぐ海に行きますから」規律ある自由、このモツトーがこの生活の生命である事がこの一事で立派に裏書される

◇　◇

愈三時から海水浴だ海は近い海水衣一枚で海濱に行つても差支ない水はあまり冷たくなく實に絕好の海水浴である、だがおしむらくは設備がまだ〳〵の恨みがないでもない、サア海だ〳〵「手首をふつて、足首をふつて、兩手を後へ廻して、ヨシ入つてもよろしい」命令一下ザブ〳〵〳〵女の子特有の黃色い聲が一しきり高まつていや仲々の賑やかさである

◇　◇

一方四五年生は炊事場で牛蒡の皮むきに一生懸命、一本々々御丁寧にむいてゐる「あなたこのザルのふせ方はこうよ」まあまさかこんなでもないが鄭寧の時間で習つた通りやつてゐる、一日の經費は？學校でも少々補助をして生徒一人が一日八十錢の割に當る從つて十日で入圓小遣ひと共に十圓あればこの愉快で健康な生活が送れるのである「なるべく生徒の負擔を安くして皆んなに來て貰ひたかつたんですが、でも最初の試みとしては大成功ですよ」澄田校長の言葉である、記者はこの企てがうまく行つて十日の後皆が元氣よく歸連するのを祈り乍らさよならをした【寫眞浴で體操をする女學生】

故楊氏部下と稱する大馬賊團が橫行

安圖縣下を荒し廻る

【間島特電三十日發】安圖縣よりの情報によれば約一ケ月前に故楊宇霆氏の部下と稱する軍兵約二百名が同縣に現れたので奉天軍三百名が出動討伐に努めてゐる內、兩者間を通して合體し一大馬賊團となつて暴威を揮ひ出したので更に奉天軍が出動して討伐の結果、賊團は三十名乃至五十名宛に分れて各地を荒れ廻つてゐるとのことで彼等は機關銃二挺を有してゐると尚間島から頭道溝駐屯軍が討伐に出動した

實兄が秘密を握る奇怪な一家心中

妻子を殺し自首を促されて數ケ月後に縊死す

【東京三十日發電】二十九日午後五時頃東京市外杉並町六五四永井鐵次（三）を同人の實兄外務省囑託永井甚一（三）氏が訪問したところ玄關口が固く締つてゐるためこぢ開けて屋內に入ると異臭鼻を突き奧六疊の間にて鐵次妻フク（三）長女シヅ（七）長男勝哉（五）の母子三名が

腐爛 せる死體となり蒲團に橫はり奧四疊半には鐵次が縊死を遂げてゐた

杉並警察は直に現場を臨檢し取敢えず甚一を取調べたところ最近三重縣の實家から再三鐵次に手紙を出すが附箋附で戾つて來るからと甚一に取調を求めて來たゝめ甚一は數月振りで訪問したと答へたが後に至り去る二月甚一宅を訪問した際鐵次が妻子を殺したと述べたので自首を促したところ鐵次は、自分も考へるところがあるから

秘密 にして置いて吳れ、と云はれ其のまゝ歸宅し四月二十三日又鐵次を訪問したと奇怪な申立をしたので事件は異常の注目を惹くに至つた、なほ同家は相當の資產家で鐵次は長く肺を病ひ妻フクはヒステリーとなつてゐたため鐵次は一家心中を圖り自らは死に遲れて四月末に自殺したもの丶如くである

氷の世界來る

製氷會社の賣場

有力な露人が續々と來連

いろ〳〵な理由から安全地帶を求め避難

露支間の擾亂を逃れて有力なる露人が續々當地に避難して來り星ケ浦ヤマトホテルは是等の避難客で賑はふて居る、東支鐵道理事グニレフスキー氏は一週間程前ハルピンより、同カズロフスキー氏は二十九日夫々來連した、元露國經濟局長ジーギー氏は豫て勞農政府より白系と睨まれモスコウに捕はれて居たが、此程破獄し二十八日避難して來た、尚現在露國におけ社會主義評論家にしてレーニズムの一方の論客であるウストレヤーロフ氏は二十八日來連、其他前東鐵汽車課長カリナ氏は神戶川崎造船所に汽車注文に行つた留守中東鐵のドサクサで追はれて了つたが氏も二十九日來連し何れも星ケ浦のホテルに滯在してゐる

一中柔道軍

全滿中等學校柔道大會に優勝し遂に黃金時代を現出した大連一中柔道部は伊藤初段（二十七貫）を主將と仰ぎ京都武德殿にて開催の全國中等學校優勝柔道大會に出陣したが破竹の勢ひにて連勝し有力なる優勝候補に數えられるに至つた二回戰迄の戰績は一回戰對愛知商業は四―〇、二回戰對唐津中學は五―一で快勝してゐる

夏期大學の講師來る

矢野、駒井の兩博士

支那學の大家として令名ある京大文學部教授矢野仁一博士並びに陛下關西御行幸の際紀州における御採集に陪して光榮の御說明を申上た我國生物學の權威者京大理學部教授駒井卓博士は、今回滿鐵社會課の主催する第七回夏期大學講師に招聘され卅日入港はるびん丸で來連した（寫眞は左矢野博士右駒井博士）

組見で大賑ひ

大相撲三日目の盛況

地方巡業相撲の興味は朝の稽古にある、其の稽古を見やうとする觀客で大相撲三日目は午前中早くも土間は一杯で棧敷は常陸岩大の里等の組見で大賑はひ、十時過ぎから幕內力士も追々稽古に姿を現はし、中にも今は檢査役になつてる元の兩國が斷髮頭で土俵に現れ幕下の强豪連を片つ端から申合せで投げ飛ばし栃木山の春日野親方と同じく昔日の面影を偲ばせる鍛練て正午前になると御大常の花、大關大ノ里怪物出羽嶽を初め人氣者の天龍を除く外幕內力士殆ど全部が顏を揃へ激しい申合せしたり取的に稽古つけてやつたりで何れも大汗になつての熱心な稽古振りに見物は大喜びであつた

證人を續々喚問

水產不正事件

水產不正事件に關しては引き續き池內檢察官が嚴重取調べを行つてゐるが、二十九日は吉野町の船問屋衣笠治三郞氏を證人として召喚發動漁船に對する不正補助金下附に就き種々證言を徵し三十日は既報の通り前關東廳殖產課長たる現在關東廳囑託今井俊彥氏を召喚午前九時より檢察官第二取調室において山崎書記立會の許に同樣發動漁船に對する補助金問題に付き不

青島中學軍あす歸校

五日大阪へ

本社主催滿洲選拔中等學校野球大會に優勝した青島中學軍は二十九三十の兩日實業球場にて岩瀨氏の熱心なコーチの下に猛練習を行つたが三十一日大連發にて一先づ歸青し五日青島出帆の船にて大阪に遠征する事となつた

Z伯號の出發期

一日以後

【フリドリツヒスハーフエン二十九日發電】アメリカ行のツエ伯號は便乘客到着の都合で出發は八月一日以後となる模樣である

軍司令官の初巡視

順次沿線へ

畑新任關東軍司令官は八月一日憲兵隊分遣中隊陸軍、輜部、衞戍病院關東倉庫の諸部隊を初巡視を行ふと尙同夜關東倉庫に一泊二日北行沿線の巡視に向ふ豫定

（前欄より）正事實の介在有無を糺し同十一時近くまで種々證言を徵する處あつた

看護婦の自殺未遂

劇藥を嚥下

大連磐城町一一七島根內科專門醫院看護婦見習井上キクエ（二）は二十六日午前四時三十分ごろ同病院內自室において劇藥亞砒酸を嚥下し自殺を圖つたが死に切れず苦悶中を家人に發見され早速應急手當を施した結果生命は取り止むらしい

原因に就いては詳細不明であるが同醫院長島根氏は同女は目下看護婦養成所に通つてゐるが二十五日に始めての試驗に出たが成績思はしくなかつたのを悲觀した結果らしいと語つてゐた

睡眠中に斬らる

支人の兇行

三十日午前三時頃市內千歲町一七李春亭（五）の妾、李々氏（三〇）方で同家の下女蕭季氏（五〇）が睡眠中何者か忍び入つて菜切庖丁樣のものを以て左顎部に長さ六寸六分許り切りつけ逃走したが被害者は仲々の重傷で博愛病院に擔ぎ込んだが生命覺束ない

尙犯人は未だ何者か判明しないが同家に忍入る妾の情夫が下女を邪魔にして此兇行を演したものかと小崗子署に於て目下關係者取調中

硫酸で脅迫

苦力が華娼を

山東省生れ住所不定木曜會苦力頭傅鴻春（二）は二年前より小崗子露天市場料理店第四五號方娼婦王翠寶（二）に馴染んでゐたが最近金の切れ目が緣の切れ目と秋風を吹かされ二十八日も菜切庖丁を振廻して暴れたが二十九日午後十時硫酸を以て脅し最後の强硬談判をやつてゐる處を小崗子署員に檢束された

鞍山鐵西に拳銃强盜

【鞍山特電三十日發】二十九日午後十時四十分鞍山鐵西市場內豚肉販賣商范德喜方に拳銃所持の四人組强盜押入金三十五圓を强奪し去つた、目下犯人嚴探中である

◇……鐵嶺の支那側鐵嶺系學校附屬小學校では去る廿八日阿片防止の宣傳行列を行つた【鐵嶺】

◇……廿九日午前二時頃奉天鐵西管內奉來會社奉來公司苦力宿舍に拳銃及び長銃を所持せる六人組の强盜が侵入し、支那側公安局では卅名の巡警が同公司を包圍して犯人探査中であるから應援を頼むといふ支那側からの急報に接した奉天署では非常召集を行ひ警官十餘名トラツクに乘つて現場にかけつけたが無少年の惡戲と判明【奉天】

第貳拾四期決算公告

（昭和四年度上半期）

貸借對照表

負債之部

科目	金額
資本金	一,五〇〇,〇〇〇.〇〇
諸積立金	二〇三,五一〇.〇〇
借入金	一八三,六〇〇.〇〇
銀行勘定	二二五,四六三.九二
未拂金	五三,九三〇.八四
保證金	九,五三三.二〇
假受金	一,一〇四.二六
割戻金	二五,九四八.七二
未拂配當金	七六.二三
預り金	二〇七,〇九八.五三
前期繰越金	六三,六八九.〇一
當期純益金	一一一,三〇六.八一
合計	二,一七三,五八三.三一

資產之部

科目	金額
未拂込資本金	七五〇,〇〇〇.〇〇
本社及支店建設費	一,〇九五,七三四.二〇
所有家屋	二七,〇〇〇.〇〇
增設假支出	八,八二六.三四
自働車勘定	五,〇六九.〇一
銀行預金	一三,七六四.七三
旅廳出張所	八,〇〇〇.〇〇
貸金	四,八七二.〇二
未收入金	三,八一〇.〇七
暇拂金	三三,五三三.四七
保證金及供託金	五一七.五八
受取手形	七,二五六.〇〇
得意先勘定	一三八,四三六.四六
備品什器	七,二〇七.五五
棚卸勘定	五〇,三四八.五七
原料及貯藏品	九,六七七.八〇
現金勘定	一,五三九.二八
合計	二,一七三,五八三.三一

損益計算

科目	金額
總收入	三六四,八六七.二五
總支出	二二三,五六九.二四
償却金	三〇,〇〇〇.〇〇
差引純益金	一一一,三〇六.八一
前期繰越金	六三,九八九.〇一
合計	一七四,二九五.八二

利益金處分

科目	金額
法定積立金	六,〇〇〇.〇〇
別途積立金	六,〇〇〇.〇〇
缺損補塡積立金	二,〇〇〇.〇〇
退職手當積立金	二,〇〇〇.〇〇
株主配當金	二〇,〇〇〇.〇〇
役員賞與金	五,九〇〇.〇〇
次年度繰越金	九二,三九五.八二

大連製氷株式會社

平安異香（65）

葉多獸太郎作

戀情地獄（一）

眞赤な顏だつた。上へ向いて突出た牙が、唇を捲くめくりあげて、鋸齒の齒に蛇のやうな焰の舌だつた。

鬼！一本角の鬼――春光は固唾をのんだ。話には聞いたが、鬼といふものはやつぱりあつたのかーーと思ふ。

たゞ茫漠とした灰色の世界で、見渡す限りの枯野ケ原だつた。鬼が指さす所に何か白いものが轉がつてゐる。小鬼ほどのものだが、死んでゐるのか動かない。赤鬼はその小鬼を指さし、春光を顧みてゲラ〳〵笑ふ。笑ふたびにカツと開く口が、血のしたゝりさうな眞赤な色だ――。笑ひながら小鬼に歩み寄つて――と見ると突然その小鬼が血を吐くやうな悲鳴をあげたが、聞き覺えのある聲で、ハツと瞠目すると、小鬼と見たのは愛人の幸だつた。

身に一糸も纏はぬ裸形の處女だ肌の白さが白鬼に見せたのであらう。

「あ、幸！」

呼ばうとしたが聲が出ない。駈け寄らうとしたが呪縛にかゝつたやうで身が動かない。

鬼は處女を指さし、春光を顧みてゲラ〳〵笑ふ。笑ふと見ると、やにはに處女に手が伸びて、あつといふ間もなく、む餘の黑髮がサツと宙に躍つて逆さまに垂れた。鬼の手に掴まれた片脚へ、他の片脚が蛇のやうに絡み、二つの手は胸の乳房を固く抱いたので、逆さに吊るされた女が、長い穗をした白柳の筆のやう――。

鬼は笑つた。春光を顧みた。

そして、左の手が女の片足にかゝると、雜作もなく脚の付根を解いて放して、蛙を裂くやうに、悲鳴もたてさせず、ぜりツと裂いた眞白の股、

「おい、苦いか」

隣客に肩を搖ぶられてフツと目を覺ませた宮部三郎春光――目の前に髯むぢやらだが、案外人の好ささうな眼をした大きな顏を見た。鬼ではない。昨夜の男だ。笑ひながら足に足鎖を篏めた男だ。こゝは昨夜のまゝの山間の小屋が――。

「ひどく魘されてゐたぜ。惡い夢を見たのだらう」

春光は夢の跡を追ふやうにすぐ目を閉ぢた。が既に鬼もなければ幸もない。枯野も消えて何處に索ねる術もなく、たゞ眼底に泛ぶのは、堪へようとして堪へられぬ熱い涙ばかりだつた。すると、

「學生さん、お前さん泣いてるな」

隣に、古臓を並べて寢てゐた髭男が腹匍ひになつて、[illegible]にもなくしんみりした聲をかけてくれる

「無理はねエよ、婆婆でどんな威張つてた奴でも、こゝの一夜は諦められねエやうだ。皆婆婆に遺した女房や子供の夢を見て泣いてやがる。世の中を引繰り返すやうな大い事を謀むやうな圖太い奴でもさうなんだからな。ましてお前のやうな若さだと、あゝもしたいかうもしたいつて事がたんとあらう生木を裂かれるやうな女つ子もあるだらう。諦めのつかねエのも道理さ。――それにお前さんなんぞは、かう見たところ、惡い事をするやうな人ぢやねエ。大方長い物には卷かれろつて道理の嚙み分けが出來なかつたせいだらうと睨んでゐるのだが、どうだ、當つたらうな。なんしろ道理の通らねエ世の中なんだから」

春光の面に淋しい微笑が浮んだ世に隱れたこんな地の底のやうな山間にかうした人情があらうとは思はなかつた。

「こゝは何處ですか。京からどの位離れた所です？」

「そいつは云へねエのだ。御禁制を破つちや俺の首が飛ぶ」

「私はこれからどうなるのです？」

「荒木の輿に乘つて出かけるのだよ」

映畫と演藝

發聲映畫から探偵映畫再起【下】

最近のトオキーに見てもユナイトの「アリバイ」パラマウントの「カナリヤ殺人事件」（本邦では無聲公開）「スタヂオ殺人事件」ユナイト社の「ブリドツク、ドラモンド」等があり、假へば「アリバイ」の如きは從來のサイレント映畫のマンネリズムが自ら映畫全體を視覺的に表現してゐるものゝトオキーに依る此の種のストオリイが如何によく活きてゐるかを知ることが出來る。パ社の近く封切るべき「スタヂオ殺人事件」はオールトオキイとして上映されるが、如上の點で期待さるべきものであらう併しトオキイなるが故に特に探偵小說の映畫化が多くなるといふことはないわけであるが、從來無聲映畫では映畫的成功を危ぶまれた探偵小說がトオキイの世界に於て初めてよく再現されるべき理由があることに依つて、探偵映畫はその好奇心を煽る興行上の利益と共に益々その數をも增加することゝ思はれる。

映畫界東西

◇この間浪速館に上映された一蜂須賀小六」の第二篇が百パーセントトーキーとして八月一日封切

◇右太衛門映畫「冷眼」が慘忍性と猥褻をかけるといふので檢閲保留になつた監督は聖麗之助

◇コロムビア社の次期作品卅六本のうち廿六本をトーキーとして製作する旨を發表

◇東京の映畫街はいづれも名映畫の再上映に夏場をしのいでゐる。

◇各社では涼しい映畫といふので八月中に山と海の作品をどし〳〵封切する

◇これが秋口の涼しくなつてから大連映畫街に上映される

滿洲日報

TEC
新
天盛ランプ
天盛瓦斯入電球
テーイランプの新電球
小さい可愛いお月様
お部屋のお花を金にした
わたしのきものを銀にした
内面からの艶消で特に明るく汚れない
東京電氣株式會社出張所

露支の和平交渉會議 満洲里に於て開催する
朱紹陽氏着哈を待ち打合せて ロシヤ側での意向

【長春特電二十九日發】セレブリヤコフ露西亞代表は其後依然としてチタに滯在し居り二十五日當地を引揚げたメリニコフ總領事と會見したる結果として當地殘留露人側へ内報し來つたところにつき探聞するに、今後特別の使者無き限り兩國の和平交渉會議は支那代表朱紹陽氏の着哈を待つて打合せの上國境満洲里に於て開催するに決定せる模樣である、十二日來支那側軍隊が満洲里最前線を交替しつゝあるは地形上軍事行動の不便に因るものである事も主因であるが、交渉會議場たらしめる爲の意味も大いに含まれたものであるとみられてゐる

廿九日夜突如蔡交渉員 満洲里へ向け出發
メ總領事と會見の爲か

【ハルビン特電二十九日發】蔡交渉員蔡運升氏は二十九日十八時卅五分突如西行列車に乘り出發した、此の西行は露支關係が和平解決に向つて進展しつゝある有力なる證據であるとして重視されてゐる

到着地は満洲里で滿洲里にてメリニコフ總領事の出發に際して何等かの諒解をなせしに基くものでロシア側から何人かゞ出張しこれに會見するかは不明であるが或はメリニコフ氏自身ではないかとも見られてゐる、勿論蔡交渉員の西行が和平交渉に移るべきものと想像されないが、その前提としての事務的打合せは可なり具體的に進められるであらう

解決迄には前途遼遠
要は支那側の讓歩如何にある
北平外交界の觀測

【北平特電二十九日發】當地外交界の觀察では支那は當初の期待に反し東支問題に對する米國を始め列國の政府及び民間の輿論が殆ど一致して支那に不利である事に甚だしく狼狽し表面強抗な態度を裝ふてゐるが、有力國の調停を望んでゐる、而も若し現在の國際空氣を以て第三國の調停を藉るならば當然支那に

不利な

る結果をみる處があるため調停を廢し直接交渉に依らんとする態度も顯著である、即ち調停非調停の兩樣の矛盾した眞理が同時に働いてゐる樣である列國は國際信義の破壞者である露支兩國の事でありワシントン、ベルリン、東京で各國政府と露支代表者間に意見交換の結果、實際に調停のため一肌脱がうと云ふ國は殆ど一國も無く結局兩國直接交渉の外あるまいと觀られる、若し然りとすれば支那は露國の赤化宣傳中止等の

面目的

條件を以て東鐵現狀恢復に讓歩し然る時正式の直接交渉に入るのではないかと想像されるが其處まで行くには双方とも強硬の態度を爲すであらうし解決の緒を得る迄は前途遼遠の感があるとみられてゐる

支那の共産、反共産兩派 對露問題で正面衝突
共産黨は對露開戰の場合に 暴動を企て勞農を援助する

【上海特電三十日發】東支鐵道問題の紛糾につれ國民黨及び國家主義團體は最近連日反露、反共産運動の宣傳を行なつてゐるが

共産黨

側も露國擁護、第二次世界大戰反對、帝國主義國民黨の東支鐵道占領反對、國民黨政府顛覆等のスローガンに猛り立ち大通りを除く總ての壁電柱には到る處共産スローガン書き散らされ、數十名乃至百名位づゝの共産黨員は隨所に飛火の如く現はれて宣傳運動をなし鬪爭は益々尖鋭化しつゝあり、東支鐵道問題は端なくも共産、反共産の正面衝突大混戰を誘致せんとし國民黨は東支鐵道といふ藪をつゝいて共産革命の蛇を出さんとする形勢にある、支那共産黨中央政治局は黨部に對する最近の通告にて國民黨政府の對露政策を牽制阻碍する各種の運動を指揮してゐるが更に國民黨が勞農に對し戰端を開いた時は直に勞農大衆をして

革命の

直接行動に出で しめ軍隊を國民黨より派して赤衛軍に聯合せしめ國内戰争を起して國民黨の統治を破壞し對露攻撃力を減ぜしめてロシアに完全なる勝利を博さしめ、支那勞農兵ソウエート共和國の建設に向つて邁進せよと命令し、若し支那はまだ共産革命の時潮に達してゐないといふやうなことにこだわつて、今直接行動を執ることはどうかなどゝ遲疑するは帝國主義の勝利を援助すると同一故、いざといふ時は暴動國内戰争を發動しなければならぬと説明し、又極力黨員の軍事化、大衆の武裝訓練、市街戰々術の講習等を命じてゐるなど最近の共産黨の

尖鋭化

を有力に語つてゐる、更に最近上海に在る三十一の左翼文藝雜誌は帝國主義の陰謀に注意し準備されたる世界大戰に注意せよとの聯合宣言を發したが其内容は全く共産國際第六次世界大會の決議に則るもので從來地下に追込まれてゐた共産運動が俄然公開運動に轉じ而も何時の間にか案外強大な勢力を恢復して現れたのに驚かされる

梅雨空の北満
東支鐵道の武力回收は 改約の牽制策か
廿四日ハルビンにおいて 第三信 武田南陽

◇今支那の——國民政府當局の描く中央集權への人氣取大招牌は何と言つても日支改約問題である、國一致打倒日本帝國主義は該約交渉を前にしての最大の對内的スローガンである、そして若し國民政府にして——蔣介石氏にして「對日交渉」てふ好題目が無かつたら恐らく北平の三巨頭會議に曲がりなりながらあゝした成果を收め得なかつたであらう。

◇これを思ひつゝ鐵大の東鐵クーデターを觀るにつけ新京次のやうな觀察も赤一見解であると言ひ得るやうな氣がしてならない。即ち改約に直面せるしかも「最惠國」といふ條件つきの最後の鍵をなす日本との交渉にさきだつて「僞造輿論の反日」を唯一の武器としてたつ國民政府が突如疾風迅雷的に東鐵に向つて「武力回收」の一手を試みたことは日本との改約に對する飲本政策たぬこと勿論であるが、これを支に出發するものではなからうかと言ふことである

◇一般に傳へられた露西亞の國情なるものは、經濟的行きつまりどころでは無く食糧の缺乏をさへ訴へる慘めさであつた、こゝに於て支那側が特有の國民性から露西亞何ものぞと高をくゝるは當然である況んや曩に猛將張煥相氏の土地回收、張作霖氏の大使館臨檢事件あつて露西亞の抵抗能力を實驗した經驗家は獨り教育廳長張國忱氏のみではないにおいておやである、日本が旅大乃至は滿鐵を返還しやうなどゝいふ大それた考へは毛頭持たない

那式に考ふれば東鐵の回收を武力によつて完成しその餘勢をかつて一擧に反日運動に移せば脫鑑近きにあり支那あなどる可からずと流石の日本も、殊に幣原外相は心臟を寒くして讓歩につぐに讓歩を以てし不平等條約の撤廢が假令實ぬきのものでも實行され、形式上には國際對等の關係にまでこぎつけ得るであらう、さすれば自分の地位は四百餘州に君臨して帝王に擬すべきものがあり得やうとしたでは無からうか。

◇ところがやつて見づくでやつて見た相手は案外手強く反抗の氣勢を示して來た、事實上の「綁標」を相手にする馬賊心理といつたやうなものから、何うでもなると見くびつたメリニコフ氏等露西亞の人たちにこれ亦案外人質の弱さがなく「國交は斷絶」したさうである、本國の訓令を仰がねばと支那側のもちかけた交渉の話にうかうか乘らず國際間の輿論は概ね支那側に不利となつて「こんな筈では無かつたが」とそこで蔡運升交渉員のチルキン日參となりメリニコフ威壓策引み僞しとなつて今日の梅雨空的暗雲低迷に頭痛を病んでゐるのでは無からうか。

◇これも亦時が解決を與へるであらうこと前信と同一である。

昭和四年度實行豫算 十六億八千二百餘萬圓
廿九日の閣議で決定す

【東京二十九日發電】本年度實行豫算は二十九日閣議で左の如く決定した（單位千圓）昭和四年度一般會計實行豫算（本計算は計數整理の結果異動あるを免れず）

歳入

經常部	一、五〇四、六〇七、一九五
臨時部	一七七、七〇三、七三九
普通歳入	六八、九〇五、九五九
公債金	五一、九六四、四八三
前年度剰餘金繰入れ	五六、八三三、二九七
計	一、六八二、三一〇、九三四

歳出

經常部	一、二二三、六八九、〇七〇
臨時部	四五八、六二一、八六四
計	一、六八二、三一〇、九三四

一般會計歳出豫算 所管別による内譯

【東京二十九日發電】昭和四年度一般會計歳出實行豫算所管別内譯左の如し（單位千圓）

所管	經常部	臨時部	計
皇室費	四、五〇〇	—	四、五〇〇
外務	一六、五〇四	四、四三一	二〇、九三五
内務	五七、〇六三	一五六、八八四	二一三、九四七
大藏	三三四、九二九	一三、八五九	三四八、七八八
陸軍	一八〇、八九九	四一、〇二〇	二二一、九一九
海軍	一四七、九七一	一一三、一三七	二六一、一〇八
司法	三五、一七二	一、四八一	三六、六五三
文部	一二一、九六三	一五、三五九	一三七、三二二
農林	三〇、八八八	二六、七二五	五七、六一三
商工	五、三四五	六、二五一	一一、五九六
遞信	二九六、〇八四	四七、三二五	三四三、四〇九
拓務	一二、三六七	二二、一四五	三四、五一二

臨時閣議 廿九日開會

【東京二十九日發電】昭和四年度實行豫算を決定する臨時閣議は二十九日午後一時より首相官邸に開會、首相以下各閣僚出席井上藏相より査定の經過を報告し二十九年度の豫算は各府縣費については四年度に比し一割五分を節約すること）の原案を報告し直に發令することに決し、次に海相より軍縮に關し報告をなし、外相の露支問題經過報告あり、最後に濱口首相より臺灣總督後任に石塚英藏氏を就任せしむるに決定せる旨を報告し一同の諒解を求め五時散會した

午前中更に六萬四千圓の追加を承認したる旨報告し閣議の承認を得これを八月一日より實施することに決定した、次で藏相、内相より地方豫算緊縮に關する訓令（五年三分の二は竣工したので中里技師…）

朱代表の着哈後 徐に交渉を進む
國民政府の對露方針

【上海卅日發電】張學良氏は王樹常氏を南京に派遣して露支問題の報告をなさしめたが、國民政府の對露方針は此上積極的に出でず哈爾賓及び長春における非公式交渉を基として朱紹陽氏をして哈爾賓に到着後徐ろに直接交渉を進めんとするものゝ如くである

支那軍後退す

【ハルビン三十日發電】西部國境の勞農軍は廿八日來漸次アバガイド方面に增加されつゝあり、爲に支那軍は後方に脅威を感じ一部を滿洲里より札賚諾爾に後退させ、又露支東部國境東寧附近にありし支那軍は馬橋河に後退した

駐英米國大使 英首相會見

【ロンドン二十九日發電】駐英米大使ドーズ氏及びギブソン氏は本日正午マクドナルド首相と會見した、右會見中海相アレキサンダ氏にも種々諮問されたものと信ぜられる

白色パルチザン 赤軍と衝突
死傷者二百名を出す

【ハルビン廿九日發電】廿八日イマンに於て赤軍と白色パルチザンとの衝突あり死傷者二百名を出だしたと

旅大送電工事 進捗

旅大の送電事業は着々進行して老座山隧道から大連に近く約一キロの地點及旅順は要塞地帶内に至る電柱建設の土木工事を終り全線の三分の二は竣工したので中里技師一行は現場の空地調査を行ふ豫定である、愈大連から電力が送電されるのは十一月中旬頃となるであらう、其曉は現在の料金より幾分安くなる模樣である

旅順軍部異動

對島旅順憲兵分隊長は少佐に榮進し廣島憲兵分隊長に後任は東京憲兵司令部から大尉坂野光太郎氏が來任し、大佐吉村文吉重砲兵隊長は東京に榮轉し其他軍司令部及第九聯隊方面にも多少の異動ある模樣である

瀬谷佐次郎氏選ばれ 大連市助役決定す
收入役には近藤誠久氏推薦さる
きのふ開會の市會

大連市會は二十九日午後二時五十分開會された、出席者三十四名、この日市會議長選擧及び問題の助役、收入役推薦等を控へて緊張味を漂はしてゐた、まづ田中副議長議長席につき、村田議長辭任を報告し、次いで若月氏議長選擧の動議を提出しこれが投票の結果

二三票 恩田熊壽郎
一〇票 二村光三
棄權一票

恩田氏

は直に田中氏に代つて議長席につき新任挨拶を述べその儘議事を續行、この時小野

となり恩田氏新しく議長に選ばる

金二萬圓 元大連市助役 小數賀政市
金六千圓 元大連市收入役 關東

（五）市吏員給料額規程改正の件 助役「年俸三千圓以上六千圓以下」を「年俸二千五百圓以上六千圓以下」に改む

次いで問題の助役推薦に移り市長は助役を瀬谷佐次郎氏を推す、この時有馬、高橋兩氏前回の助役否決に關する意見を述べよと

市長に

迫り、殊に河内山氏は辛辣にこの度の助役推薦の裏に、恩田氏を議長に推し、次いで助役、

市助役に選ばれた瀬谷佐次郎氏

氏より四月三十日の市會で鈴木、立石兩氏によつて佐多、宮崎兩氏の起訴猶豫となつたことに就き市會の名譽に關する云々の市會の演説に對する質問に及んだが後廻しとなりいよいよ議案討議に移り、市長提出左記の議案は異議なく全部可決を見るに至つた

（一）大連彌生高等女學校移管に付申請の件
（二）常設委員規程中改正の件
（三）中央公園内實業野球園球場北側土留石垣並に石段築造許可の件
（四）退職給與金支給の件

休憩後

收入役を決定し、而も市長はこの十一月市長有給案を提出して進退を決すべしと云ふ、これ等は滿鐵議員と市會中心派との連絡によるものと云ふが市長はこれに就いて御聞き及びがあるかと詰めよる、市長窮し乍ら逃げ助役推薦となり立石、内海、相川氏等之に贊意を述べ全會一致贊意ありたしと云ふのに對し、小野氏無記名投票とすべしとて譲らず、遂に議長十分間休憩を宣す

再び開票の結果提出原案を可とする者二十三名、否とする十名、棄權一名にて瀬谷佐次郎氏助役に選ばる、次ぎに收入役として市長推薦の近藤誠久氏も二十三名對十名の多數にて決定し最後に小野氏によつて問題化された宮崎市議等の起訴猶豫の問題は次回の市會に保留されることゝなり同三時半閉會

瀬谷助役略歴

大正七年七月京都帝大政經科を卒業在學中高文試驗に合格し大學卒業後高砂水電會社員たりしも同八年同志社大學法學部教授福島高商教授兼東北帝大講師を經て同十五年十一月來連大連商業學校教頭となり今日に至る

村岡中將から 關東軍狀奏上

【東京卅日發電】前關東軍司令官村岡長太郎中將は三十日午前十時天皇陛下に拜謁仰せつけられ在任中の關東軍狀につき委曲奏上した

對外爲替強調

【神戸三十日發電】對外爲替市場は生糸ビル出廻り弗々ありてレート上進み對英一志一〇片一六分の一五に期近物に二萬磅の出會ひあり又賣手旺盛にて對米四七弗一六分の一にて十一月物に十萬弗の出會あつた

鞍山代表 援助を求む
製鋼所問題で

製鋼所問題に關し鞍山市民は是非とも鞍山に設置されたしと上京委

満洲電氣總會

滿洲電氣會社は二十八日午後一時より定時株主總會を開き本年上半期利益金處分案、定款變更の件、取締役及び監査役の報酬の件を原案通り可決した、更に取締役榊太親吉、關甲子郎任期滿了につき改選の結果兩氏とも重任取締役には高橋仁一修氏新任、社長及び常務を置かず會社代表として千々和正彦氏專務取締役に就任、準備積立金中より金四萬七千五百圓を以て株主特別配當に充當の件は重役會議で明年南滿電氣より送電配給の曉き事業の一新紀元と會社の内容充實を俟つてこれを行ふを適當と認め社長より提案を撤回して無事終了した猶ほ當期配當は前期同樣一割二分である

員を派して濱口首相に陳情する一方、滿洲各地にも遊説員を派遣して猛運動に努めて居るが、三十日には大惠新治郎、山崎英武並に植田繁造の三氏來連滿鐵を始め商工會議所各新聞社等歴訪援助方を求めた

白井龜雄氏 來月四日離連

前本社總務部長白井龜雄氏は本月末日限り薩摩町の宅を引拂ひ奉天等に赴き三日夜歸連四日出帆のうらる丸にて歸京の途に就く由

人事

▲佐藤國一郎氏（元滿鐵情報係主任）歐洲旅行中のところ二十九日朝來連ナニワホテルに當分滯在の豫定

安樂椅子

此間木下長官が歸朝するので關東廳文書課では事務概況報告を出發前に作成せねばならぬと一生懸命に骨を折つて急いだが遂に間に合はなかつた▲そこで去る廿六日飛行便で發送することにして當日其手續きを終へた處、幸ひ廿七日——長官の一行が東京に着した午後六時卅五分無事報告書は入手した旨返電があつたので文書課ではヤレヤレと胸を撫下したとの話▲世間では兎角の惡評ある飛行郵便もこれによつて矢張り普通便よりは早いことが判つたと關東廳の井上屬が飛行郵便物の宣傳

錢鈔

◇定期後場（單位錢）期近 寄付 八九五 高値 九〇〇 安値 八九七 大引 八九五 出來高 期近百六十一萬五千圓
◇現物後場（單位錢）寄付 銀對金 九〇〇 銀對洋 一三四〇 金對洋 一三三〇 二時半 八九五 一二〇〇 一三三〇 三時 — 一二〇〇 一三三〇 出來高 銀對金 二千圓 銀對洋 七千圓

商品

後場

麻袋（保合）約定期 十月末 値段 三四五 枚數 五萬枚 五〇
鐵筋 延 出來高
麥粉（出來不申）
綿糸布（出來不申）

神戸特產物（廿九日）

大豆現物 七四五
大豆先物 六四五
豆粕現物 二一八
豆粕先物 四六七
満洲小麥 七一〇
荏油現物 二二〇〇

東京株式（短期）

寄値 五品 一二二〇 東新 一〇七〇〇

大阪株式 / 大阪期米 / 東京期米 / 神戸期米 / 横濱生糸

[illegible]